

平成 28 年度  
事業報告書

学校法人 専修大学

# 学校法人専修大学 平成 28 年度事業報告書

|         |   |
|---------|---|
| 【根拠条文】  | 私立学校法第 47 条   |
| 【事業年度】  | 平成 28 年度<br>(自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)                  |
| 【法人名】   | 学校法人専修大学  |
| 【英訳名】   | Senshu University Educational Foundation                            |
| 【代表者】   | 理事長 日高 義博   |
| 【法人所在地】 | 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8-1  |
| 【URL】   | <a href="http://www.senshu-u.ac.jp/">http://www.senshu-u.ac.jp/</a> |
| 【事務連絡先】 | 理事長室 総合企画課<br>〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8<br>電話 03-3265-5839         |

## 目次

|                |                                    |    |
|----------------|------------------------------------|----|
| 理事長挨拶          |                                    | 1  |
| 建学の精神と21世紀ビジョン |                                    | 2  |
| 沿革             |                                    | 3  |
| I 法人の概要        | 1 学校法人専修大学組織図(平成29年3月31日現在)        | 4  |
|                | 2 所在地(平成29年3月31日現在)                | 5  |
|                | 3 学生数(平成28年5月1日現在)                 | 5  |
|                | 4 入学志願者数の推移(学部・学科)                 | 7  |
|                | 5 役員・教職員の状況(平成29年3月31日現在)          | 7  |
| II トピックス       | 専修大学                               | 9  |
|                | 石巻専修大学                             | 11 |
| III 事業の概要      | 主な事業の目的・計画及び進捗状況                   | 12 |
|                | 1 教育領域                             | 12 |
|                | 2 研究領域                             | 14 |
|                | 3 学生支援領域                           | 16 |
|                | 4 グローバル領域                          | 17 |
|                | 5 入試領域                             | 17 |
|                | 6 社会連携領域                           | 18 |
|                | 7 経営・財務領域                          | 20 |
| IV 決算の概要       | 1 資金収支計算書                          | 22 |
|                | 2 活動区分資金収支計算書                      | 24 |
|                | 3 事業活動収支計算書                        | 26 |
|                | 4 貸借対照表                            | 29 |
|                | 5 学校法人会計について                       | 31 |
| V その他の資料       | 1 平成28年度卒業・修了者数                    | 32 |
|                | 2 卒業後の進路(学部・学科)                    | 33 |
|                | 3 公開講座等の開講状況                       | 34 |
|                | 4 平成28年度学費                         | 36 |
|                | 5 国際交流協定校・国際交流組織間協定校(平成29年3月31日現在) | 37 |
|                | 6 付属校                              | 37 |

\*本報告書について、第三者による無断複製・転用・公開を禁止します。

表紙の写真は、平成 28 年 12 月に完成し、平成 29 年 4 月から利用が開始される生田 2・3 号館である。



学校法人専修大学の平成 28 年度事業報告書をまとめましたので、ここに報告いたします。

本学は、21 世紀ビジョン「社会知性の開発」を達成するために、「学生を基本に据えた大学づくり」を大学運営の基本理念に掲げ、社会の屋台骨を支える有為な人材の育成に努めるとともに、骨太の大学改革に取り組んでいます。さらに専修大学創立 140 周年・石巻専修大学創立 30 周年を迎える向こう 5 年間(平成 28 年度から平成 32 年度)は、「確たる大学基盤の整備」を指針に据え、7 つの事業領域を中心に中期的な視点で到達目標を設定し、各年度において事業実績の検証・改善を行って、来るべき学校法人専修大学創立 150 年に向けて、大学基盤の整備を推進していきます。

専修大学は、魅力ある教育研究環境を再構築すべく、キャンパス整備を推進してまいりました。生田キャンパスでは、平成 28 年 12 月に、大学院・社会知性開発研究センターを中心とした 3 号館と学生のアクティブ・ラーニング(能動的学修)空間を中心とする 2 号館が完成しました。神田キャンパスでは、靖国通り新校舎建設の基本計画策定を進めるとともに、あわせて既存校舎の改修工事を進めます。神田キャンパス全体では、平成 32 年 4 月には商学部が移転します。国際系新学部の設置も検討されています。

教育領域では、全学部・学科における三つのポリシーを策定しました。また、アクティブ・ラーニングの手法を取入れた授業を全学的に展開するため、朝日ネットが提供する「respon」システムの導入を決定し、平成 29 年 4 月から利用しています。能動的学修への転換については、ハード・ソフトの両面で整備等を進めました。文学部及び経営学部においては、平成 31 年 4 月に学科を改組し新学科を開設する予定です。大学院では、商学研究科において、社会的な要請の広がりに対応するため、平成 30 年度入学試験から博士後期課程における社会人入学試験制度が導入されます。今後も、社会人の学び直しなどに対応した魅力ある大学院教育の実現に向けて、検討を図ります。

研究領域では、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に選定された研究プロジェクトをはじめとする 6 つの研究拠点が展開しております。さらに、プロジェクトの採択や外部研究費の獲得増加に向けた支援体制を強化した結果、平成 28 年度科学研究費助成事業の新規課題採択率は 40.3%となりました。この採択率は、新規応募件数が 50 件以上の研究機関の中で私立大学では 3 位となります。

入試領域では、大学入試センター試験利用入学試験及び一般入学試験の志願者数合計が前年と比較して 7,926 名増加の 44,462 名となり、特別入試を含めると 47,288 名(前年度比 22.1%増)となりました。今後も志願者確保の強化を推進しつつ、三つのポリシーとの整合性を踏まえた入試改革を行い、高大接続改革を推進します。

石巻専修大学は、平成 29 年度に導入した新たな学士課程教育を具現するため、「いしのまき学」や「フューチャー・スキル・プロジェクト(FSP)講座」を開講し、「学科間ジョイント・プログラム」を導入するなど、新たな試みを取入れることになりました。さらに、全学共通科目としてキャリア教育科目「キャリア設計」、「キャリア開発」及び「キャリア研究」を設置することを決定し、キャリア教育の充実を図りました。また、私立大学研究ブランディング事業に「震災復興から地域資源の新結合による産業創出へー草葉起源による内水面養殖業の創出ー」が採択(事業期間:平成 28 年度から平成 30 年度までの 3 年間)されました。

石巻専修大学と高校と企業等の 3 者が連携する高大産連携プロジェクトにおいては、平成 28 年度には、「Code for Ishinomaki2016」、「石巻地域 3 者連携ものづくりプロジェクト」及び「高大産連携によるラジオ放送のプロジェクト」の 3 つのプロジェクトを推進しました。さらに、平成 29 年度からスタートする新たなプロジェクトのため、ソフトバンクグループや楽天野球団等と連携を図り、地域人材育成と地域の活性化に取り組んでいきます。

グローバル化や情報化の進展により急激に変化する社会、また、数年後から再び加速する 18 歳人口の減少により、大学間競争は一層厳しいものになります。しかし、本学は法人と教学が一体となり、大学としての品格を保ちながら、従前にも増して「社会知性の開発」に専念し、「大学改革の時代」を乗り越えていく所存です。

学校法人専修大学理事長

日高義博





## 建学の精神と 21 世紀ビジョン

専修大学は、1880 年(明治 13 年)に相馬永胤、田尻稲次郎、目賀田種太郎、駒井重格の 4 人の青年たちによって創立されました。幕末の動乱を生き抜いた創立者たちは、明治維新後、米国のコロンビア、エール、ハーバード、ラトガースの各大学に留学し、強靱な精神力を持って約 8 年もの間、勉学に励みました。海外から黎明期にあった日本の国の形を考え、日本の発展のために、修得した最新の知見を社会に還元しようとした彼らは、高等教育によって社会の屋台骨を支える有為な人材を育成するという「熱き思い」を抱いたのです。そして帰国後、日本語により経済学や法律学を教授するために、本学の前身である「専修学校」を創立しました。明治 10 年代は、明治政府による法整備が進められ、条約改正や憲法制定を求める声も一段と大きくなった時期でもあり、いち早く近代法の考え方をわが国に根付かせようとした本学は、現在の法政・明治・早稲田・中央の各大学とともに、五大法律学校の一つとして重要な役割を担いました。

爾来、本学は、関東大震災や戦禍などによって極めて困難な状況に直面しながらも、学窓の灯火を守り続けてきました。21 世紀に入った今日においては、私学全体に降りかかる大きな荒波を乗り越え、更なる発展を遂げなければなりません。本学の進むべき指針を熟慮するにあたり、常に創立の原点に立ち返ることで、自ずと道は拓かれます。その指針として、本学は、建学の精神を現代的に捉え直した「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」を 21 世紀ビジョンに据えました。「社会知性」の開発をどう具現化するのかについては、学部あるいは研究科によって方法論も力点も自ずから異なりますが、各部局において、積極的かつ真摯な取り組みがなされています。



相馬 永胤  
(そうま ながたね)



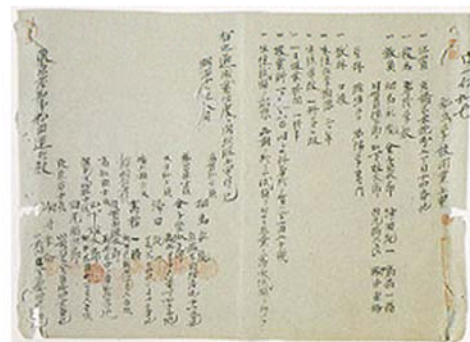
田尻 稲次郎  
(たじり いなじろう)



目賀田 種太郎  
(めがた たねたろう)



駒井 重格  
(こまい しげただ)



専修学校(専修大学の前身)の開業上申

## 専修大学 21 世紀ビジョン

### 「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」

社会知性とは、

「専門的な知識・技術とそれに基づく思考方法を核としながらも、深い人間理解と倫理観を持ち、地球の視野から独創的な発想により主体的に社会の諸課題の解決に取り組んでいける能力」である。

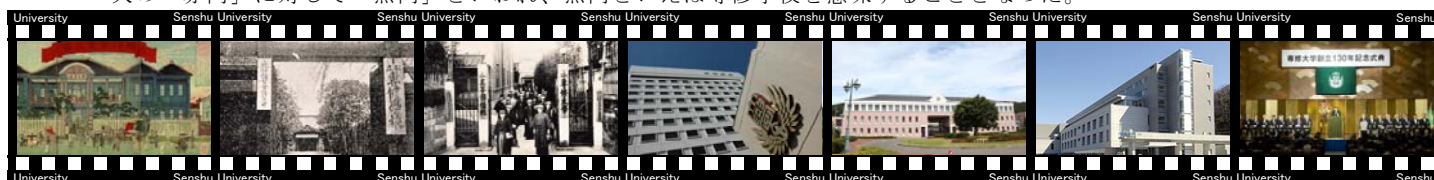
※掲載した「開業上申」は東京都公文書館、目賀田種太郎(写真)は大垣市奥の細道むすびの地記念館が所蔵。

|       |       |  |
|-------|-------|--|
| 1880年 | 明治13年 | 経済・法律専攻の専修学校（夜間2年制）創立 ※1<br>京橋区南鍋町の仮校舎から木挽町の本校舎へ移る ※2                |
| 1885年 | 18年   | 神田区今川小路の校地（現在の神田校舎敷地）に校舎を新築、移転 ※3                                    |
| 1903年 | 36年   | 「専門学校令」による専修学校設立認可   |
| 1913年 | 大正2年  | 校名を私立専修大学と改称   |
| 1919年 | 8年    | 校名を専修大学と改称   |
| 1922年 | 11年   | 「大学令」による専修大学（旧制）へ昇格  |
| 1923年 | 12年   | 経済学部を開設  |
| 1927年 | 昭和2年  | 法学部設置  |
| 1948年 | 23年   | 川崎市生田に校地・建物を取得、新校舎に改装  |
| 1949年 | 24年   | 「学校教育法」による新制大学に移行、商経学部・法学部を設置  |
| 1952年 | 27年   | 大学院経済学研究科修士課程設置  |
| 1954年 | 29年   | 大学院法学研究科修士課程設置   |
| 1955年 | 30年   | 大学院経済学研究科・法学研究科博士課程設置  |
| 1962年 | 37年   | 経営学部設置   |
| 1963年 | 38年   | 商経学部を経済学部と改称   |
| 1965年 | 40年   | 商学部設置  |
| 1966年 | 41年   | 文学部設置  |
| 1968年 | 43年   | 農業機械科・農業土木科・農業経営科を擁し専修大学美唄農工短期大学開学                                   |
| 1971年 | 46年   | 大学院文学研究科修士課程設置<br>大学院文学研究科博士課程設置                                     |
| 1973年 | 48年   | 専修大学美唄農工短期大学を専修大学北海道短期大学と改称し、土木科・商科・農業機械科の3科に改組                      |
| 1975年 | 50年   | 大学院経営学研究科・商学研究科修士課程設置  |
| 1977年 | 52年   | 大学院経営学研究科・商学研究科博士課程設置  |
| 1979年 | 54年   | 創立100年記念式典を日本武道館で挙行  |
| 1983年 | 58年   | 専修大学北海道短期大学造園林学科・経済科設置   |
| 1989年 | 平成元年  | 理工学部・経営学部を擁し石巻専修大学開学   |
| 1993年 | 5年    | 石巻専修大学大学院理工学研究科、経営学研究科修士課程設置   |
| 1995年 | 7年    | 石巻専修大学大学院理工学研究科博士後期課程設置  |
| 1997年 | 9年    | 石巻専修大学大学院経営学研究科博士後期課程設置  |
| 2001年 | 13年   | ネットワーク情報学部設置   |
| 2003年 | 15年   | 専修大学北海道短期大学土木科を環境システム科、農業機械科を農業科学科、造園林学科を園芸緑地科に名称変更                  |
| 2004年 | 16年   | 専門職大学院法務研究科（法科大学院）法務専攻設置   |
| 2006年 | 18年   | 専修大学北海道短期大学環境システム科・農業科学科・園芸緑地科をみどりの総合科学科に、商科・経済科を商経社会総合学科とし、2学科編成に改組 |
| 2009年 | 21年   | 専修大学サテライトキャンパス開所   |
| 2010年 | 22年   | 人間科学部設置、文学部を7学科編成に改組   |
| 2013年 | 25年   | 石巻専修大学人間学部設置   |
| 2016年 | 28年   | 生田2・3号館完成  |

※1 1880年（明治13）9月に開校した専修学校（専修大学の前身）は日本最初の経済・法律専攻の高等教育機関であった。また、この当時の官立の高等教育機関は、外国語で教授していたのに対し、専修学校は日本語で教授するという画期的な授業を行った。

※2 現在、東京都中央区銀座3丁目、歌舞伎座裏（旧京橋区木挽町2丁目14番地）には専修大学発祥の地碑が建立されている。

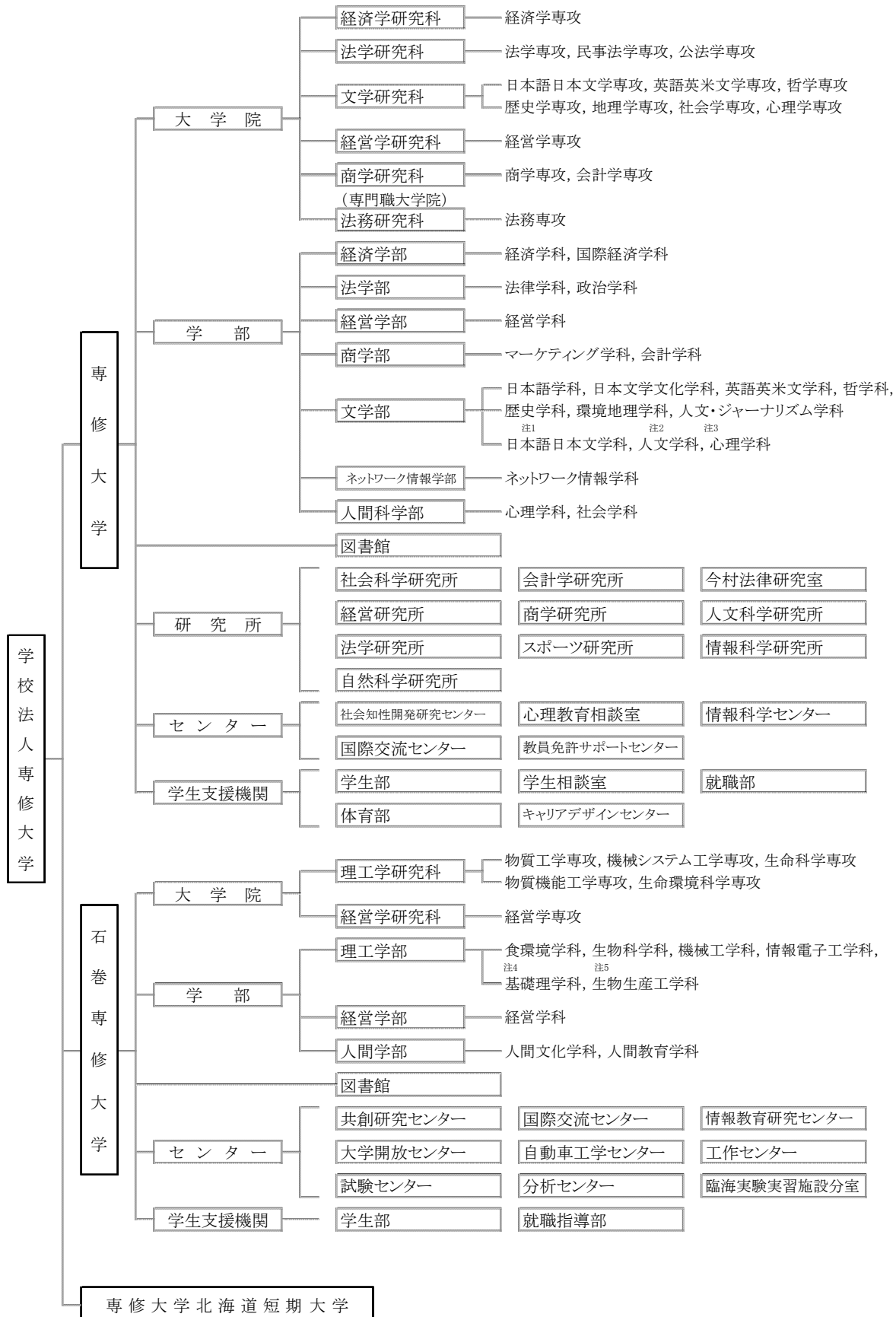
※3 1884年（明治17）、旧旗本屋敷跡を校地として買い求め、翌年神田区今川小路に自前の校舎を新築した。このとき、元々あったと思われる黒塗りの冠木門（柱の上方に横木を渡した屋根のない門）を校門に使用したことから、当時、東大の「赤門」に対して「黒門」といわれ、黒門といえは専修学校を意味することとなった。





# I 法人の概要

## 1 学校法人専修大学組織図(平成29年3月31日現在)



専修大学北海道短期大学は、平成23年度以降の学生募集を停止し、現在、廃止認可申請中である。

注1: 日本語日本文学科は、平成22年度以降の学生募集を停止しているが、当該学科に学生が在学する間、経過措置により存続する。

注2: 人文学科は、平成22年度以降の学生募集を停止しているが、当該学科に学生が在学する間、経過措置により存続する。

注3: 心理学科は、平成29年3月31日付で廃止する。

注4: 基礎理学科は、平成29年3月にすべての学生が卒業したことから、平成29年3月31日付で廃止する。

注5: 生物生産工学科は、平成25年度以降の学生募集を停止しているが、当該学科に学生が在学する間、経過措置により存続する。

## 2 所在地(平成 29 年 3 月 31 日現在)

- (1) 専修大学
- |            |           |                     |
|------------|-----------|---------------------|
| 神田キャンパス    | 〒101-8425 | 東京都千代田区神田神保町 3-8    |
| 生田キャンパス    | 〒214-8580 | 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1 |
| サテライトキャンパス | 〒214-0014 | 神奈川県川崎市多摩区登戸 2130-2 |
| 伊勢原総合グラウンド | 〒259-1111 | 神奈川県伊勢原市西富岡 163     |
- (2) 石巻専修大学
- |         |           |               |
|---------|-----------|---------------|
| 石巻キャンパス | 〒986-8580 | 宮城県石巻市南境新水戸 1 |
|---------|-----------|---------------|
- (3) セミナーハウス・研修館
- |              |           |                          |
|--------------|-----------|--------------------------|
| 箱根セミナーハウス    | 〒250-0522 | 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根字大芝 103-38 |
| 伊勢原セミナーハウス   | 〒259-1111 | 神奈川県伊勢原市西富岡 1080-1       |
| 軽井沢セミナーハウス   | 〒389-0113 | 長野県北佐久郡軽井沢町発地 1398       |
| 山中湖セミナーハウス   | 〒401-0501 | 山梨県南都留郡山中湖村山中字南中原 273-18 |
| 富士山中湖セミナーハウス | 〒401-0502 | 山梨県南都留郡山中湖村平野字切詰 479-56  |
| 御宿セミナーハウス    | 〒299-5105 | 千葉県夷隅郡御宿町岩和田 705         |
| 生田研修館        | 〒214-0031 | 神奈川県川崎市多摩区東生田 1-12-9     |
| 専修大学国際交流会館   | 〒214-0032 | 神奈川県川崎市多摩区枳形 6-22-19     |

## 3 学生数(平成 28 年 5 月 1 日現在)

- (1) 専修大学

(学部)

| 区分      | 学 部        | 学 科〔専攻〕    | 入学定員         | 収容定員   | 入学者数  | 現 員    |     |  |
|---------|------------|------------|--------------|--------|-------|--------|-----|--|
| 一<br>部  | 経済学部       | 経済学科       | 490          | 1,930  | 584   | 2,386  |     |  |
|         |            | 国際経済学科     | 205          | 805    | 232   | 981    |     |  |
|         | 法学部        | 法律学科       | 562          | 2,212  | 728   | 2,783  |     |  |
|         |            | 政治学科       | 153          | 603    | 221   | 718    |     |  |
|         | 経営学部       | 経営学科       | 542          | 2,132  | 642   | 2,542  |     |  |
|         | 商学部        | マーケティング学科  | 455          | 1,775  | 524   | 2,201  |     |  |
|         |            | 会計学科       | 220          | 880    | 239   | 997    |     |  |
|         | 文学部        | 日本語日本文学科   |              |        |       |        |     |  |
|         |            |            | 日本語学専攻       | —      | —     | —      | —   |  |
|         |            |            | 日本文学文化専攻     | —      | —     | —      | 1   |  |
|         |            |            | 日本語学科        | 71     | 281   | 92     | 351 |  |
|         |            |            | 日本文学文化学科     | 114    | 444   | 148    | 543 |  |
|         |            |            | 英語英米文学科      | 142    | 562   | 177    | 679 |  |
|         |            |            | 人文学科         |        |       |        |     |  |
|         |            |            | 哲学人間学専攻      | —      | —     | —      | 2   |  |
|         |            |            | 歴史学専攻        | —      | —     | —      | 2   |  |
|         |            |            | 環境地理学専攻      | —      | —     | —      | —   |  |
|         |            |            | 社会学専攻        | —      | —     | —      | 1   |  |
|         |            |            | 哲学科          | 71     | 281   | 73     | 323 |  |
|         |            |            | 歴史学科         | 132    | 522   | 161    | 639 |  |
|         |            |            | 環境地理学科       | 51     | 201   | 49     | 222 |  |
|         |            |            | 人文・ジャーナリズム学科 | 93     | 363   | 98     | 442 |  |
|         |            | 心理学科       | —            | —      | —     | —      |     |  |
|         | ネットワーク情報学部 | ネットワーク情報学科 | 235          | 925    | 243   | 1,033  |     |  |
|         | 人間科学部      | 心理学科       | 72           | 282    | 91    | 342    |     |  |
|         |            | 社会学科       | 122          | 482    | 139   | 573    |     |  |
|         | 一 部 計      |            | 3,730        | 14,680 | 4,441 | 17,761 |     |  |
| 二<br>部  | 経済学部       | 経済学科       | 90           | 390    | 91    | 420    |     |  |
|         | 法学部        | 法律学科       | 90           | 540    | 94    | 521    |     |  |
|         | 商学部        | マーケティング学科  | 90           | 390    | 96    | 426    |     |  |
|         | 二 部 計      |            | 270          | 1,320  | 281   | 1,367  |     |  |
| 学 部 合 計 |            |            | 4,000        | 16,000 | 4,722 | 19,128 |     |  |

※文学部日本語日本文学科は、平成22年4月から学生募集停止

※文学部人文学科は、平成22年4月から学生募集停止

※文学部心理学科は、平成29年3月31日付けで廃止。

## (大学院)

| 課程      | 研究科   | 専攻      | 入学定員 | 収容定員 | 入学者数 | 現員  |     |
|---------|-------|---------|------|------|------|-----|-----|
| 修士      | 経済学   | 経済学     | 30   | 60   | 12   | 22  |     |
|         | 法学    | 法学      | 25   | 50   | 5    | 11  |     |
|         | 文学    | 日本語日本文学 |      | 10   | 20   | 4   | 19  |
|         |       | 英語英米文学  |      | 5    | 10   | 3   | 5   |
|         |       | 哲学      |      | 5    | 10   | 3   | 8   |
|         |       | 歴史学     |      | 10   | 20   | 7   | 19  |
|         |       | 地理学     |      | 5    | 10   | 1   | 1   |
|         |       | 社会学     |      | 5    | 10   | 2   | 5   |
|         |       | 心理学     |      | 10   | 20   | 15  | 24  |
|         | 経営学   | 経営学     | 20   | 40   | 13   | 17  |     |
|         | 商学    | 商学      | 10   | 20   | 3    | 7   |     |
|         |       | 会計学     | 15   | 30   | 13   | 28  |     |
|         | 修士課程計 |         |      | 150  | 300  | 81  | 166 |
|         | 博士後期  | 経済学     | 経済学  | 3    | 9    | 1   | 6   |
| 法学      |       | 民事法学    | 3    | 9    | 0    | 2   |     |
|         |       | 公法学     | 3    | 9    | 1    | 3   |     |
| 文学      |       | 日本語日本文学 | 3    | 9    | 0    | 8   |     |
|         |       | 英語英米文学  | 2    | 6    | 0    | 3   |     |
|         |       | 哲学      | 2    | 6    | 0    | 1   |     |
|         |       | 歴史学     | 5    | 15   | 1    | 7   |     |
|         |       | 地理学     | 3    | 9    | 0    | 0   |     |
|         |       | 社会学     | 3    | 9    | 2    | 4   |     |
|         |       | 心理学     | 3    | 9    | 3    | 7   |     |
| 経営学     |       | 経営学     | 3    | 9    | 2    | 7   |     |
| 商学      |       | 商学      | 2    | 6    | 0    | 3   |     |
|         |       | 会計学     | 2    | 6    | 2    | 4   |     |
| 博士後期課程計 |       |         | 37   | 111  | 12   | 55  |     |
| 大学院合計   |       |         | 187  | 411  | 93   | 221 |     |

## (専門職大学院)

| 課程    | 研究科 | 専攻 | 入学定員 | 収容定員 | 入学者数 | 現員 |
|-------|-----|----|------|------|------|----|
| 専門職学位 | 法務  | 法務 | 28   | 138  | 21   | 57 |

※収容定員について

修業年限は、法学未修者が3年、法学既修者が2年であるため、平成28年度の実収容定員は108名となる。

## (2) 石巻専修大学

## (学部)

| 学部   | 学科      | 入学定員 | 収容定員  | 入学者数 | 現員    |
|------|---------|------|-------|------|-------|
| 理工学部 | 基礎理学科   | —    | —     | —    | 3     |
|      | 機械工学科   | 40   | 160   | 22   | 96    |
|      | 情報電子工学科 | 35   | 155   | 20   | 93    |
|      | 生物生産工学科 | —    | —     | —    | 6     |
|      | 食環境学科   | 40   | 160   | 9    | 76    |
|      | 生物科学科   | 55   | 175   | 63   | 240   |
| 経営学部 | 経営学科    | 190  | 790   | 112  | 443   |
| 人間学部 | 人間文化学科  | 40   | 160   | 18   | 65    |
|      | 人間教育学科  | 40   | 160   | 28   | 123   |
| 学部合計 |         | 440  | 1,760 | 272  | 1,145 |

※理工学部食環境学科、生物科学科は平成25年4月設置

※理工学部基礎理学科、生物生産工学科は平成25年度募集停止（基礎理学科は、平成29年3月31日付けで廃止）

※人間学部は平成25年4月設置

## (大学院)

| 課程      | 研究科 | 専攻       | 入学定員 | 収容定員 | 入学者数 | 現員 |
|---------|-----|----------|------|------|------|----|
| 修士      | 理工学 | 物質工学     | 5    | 10   | 0    | 0  |
|         |     | 機械システム工学 | 5    | 10   | 0    | 3  |
|         |     | 生命科学     | 5    | 10   | 0    | 3  |
|         | 経営学 | 経営学      | 5    | 10   | 3    | 4  |
| 修士課程計   |     |          | 20   | 40   | 3    | 10 |
| 博士後期    | 理工学 | 物質機能工学   | 3    | 9    | 0    | 0  |
|         |     | 生命環境科学   | 3    | 9    | 0    | 0  |
|         | 経営学 | 経営学      | 3    | 9    | 0    | 3  |
| 博士後期課程計 |     |          | 9    | 27   | 0    | 3  |
| 大学院合計   |     |          | 29   | 67   | 3    | 13 |



## 4 入学志願者数の推移(学部・学科)

|             | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 専 修 大 学     | 36,454 | 35,194 | 33,388 | 38,714 | 47,288 |
| 石 巻 専 修 大 学 | 601    | 825    | 879    | 607    | 793    |

## 5 役員・教職員の状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)

### 【専修大学長の逝去】

専修大学 矢野建一学長(任期:平成 25 年 9 月 1 日から平成 28 年 8 月 31 日)が平成 28 年 4 月 25 日、67 歳で逝去された。葬儀・告別式は 4 月 29 日、東京都三鷹市の禅林寺において営まれた。なお、学校法人専修大学の主催により、6 月 25 日、ホテルグランドパレスにおいて「お別れの会」を開催した。

### 【専修大学学長職務代行の選任及び専修大学北海道短期大学長の選任】

学校法人専修大学は、平成 28 年 4 月 27 日開催の理事会において、矢野建一専修大学長の逝去に伴う学長退任(平成 28 年 4 月 25 日)により、馬場杉夫経営学部教授(経営学部長)を専修大学学長職務代行に選任した。任期は平成 28 年 4 月 27 日から平成 28 年 8 月 31 日まで(矢野建一前専修大学長の任期満了日まで)。

また、矢野建一専修大学長は、専修大学北海道短期大学長を兼務していたことから、尾池守石巻専修大学長が同短期大学長を兼務することを同理事会において併せて決定した。任期は平成 28 年 4 月 27 日から同短期大学が廃止されるまでの間(ただし、石巻専修大学長在任期間とする)。

### 【専修大学長の選任及び専修大学副学長の選任】

学校法人専修大学は、平成 28 年 7 月 6 日開催の理事会において、任期満了に伴う次期専修大学長の選任を行い、佐々木重人商学部教授を選任(新任)した。任期は平成 28 年 9 月 1 日から平成 31 年 8 月 31 日までの 3 年間。

さらに、平成 28 年 9 月 28 日開催の理事会において、「専修大学長を補佐する副学長に関する取扱い内規」に基づき、金子洋之文学部教授を副学長に選任した。任期は平成 28 年 9 月 28 日から平成 31 年 8 月 31 日まで(ただし、専修大学長の任期と同じとする)。

#### (1) 役員

|       |         |           |           |         |                        |
|-------|---------|-----------|-----------|---------|------------------------|
| 総 長   | ( 空 席 ) |           |           |         |                        |
| 理 事 長 | 日 高 義 博 |           |           |         |                        |
| 副理事長  | 富 山 尚 徳 |           |           |         |                        |
| 専務理事  | 松 木 健 一 |           |           |         |                        |
| 常務理事  | 市 川 辰 雄 | 小 野 博 良   | 佐 藤 猛     | 田 中 實   | 湯 浅 敏 明                |
| 理 事   | 甘 竹 秀 雄 | 内 山 哲 朗   | 江 原 淳     | 尾 池 守   | [石巻専修大学長・専修大学北海道短期大学長] |
|       | 金 子 洋 之 | 小 宮 多 喜 次 | 佐 々 木 重 人 | [専修大学長] | 白 藤 博 行 田 村 裕 二        |
|       | 蔡 苳 錫   | 長 野 宏     | 廣 瀬 玲 子   | 宮 岡 孝 之 | 桃 野 直 樹 山 上 精 次        |
|       | 山 田 長 満 | 渡 辺 達 朗   |           |         |                        |
| 常勤監事  | 今 野 健 吾 |           |           |         |                        |
| 監 事   | 瀧 本 和 男 | 水 崎 保 男   |           |         |                        |

(五十音順)

#### (2) 評議員

| 学校法人専修大学寄附行為第 23 条第 1 項による選任区分 |                                       | 現員数 |
|--------------------------------|---------------------------------------|-----|
| 第 1 号                          | 総長(寄附行為第 5 条の規定による推戴がある場合のみ)・学長・短期大学長 | 2   |
| 第 2 号                          | 卒業生のうちから評議員会において選任された者                | 43  |
| 第 3 号                          | 職員のうちから理事会において選任された者                  | 22  |
| 第 4 号                          | 学識経験者として、理事会において選任された者                | 11  |

#### (3) 顧問

現員数 2 人

#### (4) 教員

専修大学

|            | 専任  |     |    |     | 助教 | 特任教授 | 大学院専任教員 | 非常勤講師 | 客員教員 | 任期制助手 | 合計    |
|------------|-----|-----|----|-----|----|------|---------|-------|------|-------|-------|
|            | 教授  | 准教授 | 講師 | 計   |    |      |         |       |      |       |       |
| 経済学部       | 60  | 9   | 3  | 72  | 0  | 0    | 0       | 104   | 0    | 0     | 176   |
| 法学部        | 39  | 23  | 2  | 64  | 1  | 0    | 0       | 112   | 0    | 0     | 177   |
| 経営学部       | 37  | 16  | 1  | 54  | 0  | 1    | 0       | 100   | 0    | 0     | 155   |
| 商学部        | 57  | 15  | 1  | 73  | 1  | 0    | 0       | 101   | 1    | 0     | 176   |
| 文学部        | 66  | 16  | 1  | 83  | 3  | 2    | 0       | 162   | 3    | 0     | 253   |
| ネットワーク情報学部 | 15  | 10  | 3  | 28  | 0  | 2    | 0       | 66    | 2    | 0     | 98    |
| 人間科学部      | 22  | 5   | 0  | 27  | 2  | 1    | 0       | 61    | 0    | 0     | 91    |
| 法科大学院      | 17  | 4   | 0  | 21  | 0  | 0    | 0       | 5     | 13   | 0     | 39    |
| 経済学研究科     | 0   | 0   | 0  | 0   | 0  | 0    | 0       | 0     | 5    | 0     | 5     |
| 法学研究科      | 0   | 0   | 0  | 0   | 0  | 0    | 0       | 0     | 0    | 1     | 1     |
| 文学研究科      | 0   | 0   | 0  | 0   | 0  | 0    | 0       | 0     | 0    | 1     | 1     |
| 経営学研究科     | 0   | 0   | 0  | 0   | 0  | 0    | 0       | 0     | 0    | 0     | 0     |
| 商学研究科      | 0   | 0   | 0  | 0   | 0  | 0    | 1       | 0     | 0    | 2     | 3     |
| 計          | 313 | 98  | 11 | 422 | 7  | 6    | 1       | 711   | 24   | 4     | 1,175 |

※学長は、商学部教授に含む。

※経済学研究科の客員教員5名には、大学院客員教員（旧規程）2名を含む。

※兼任教員は、年度途中に退職した教員を除き、平成28年度に在職した教員数を計上している。

石巻専修大学

|      | 専任 |     |    |    | 助教 | 特任教授 | 特任准教授 | 助手 | 特命教員 | 客員教員 | 非常勤講師 | 非常勤助手 | 合計  |
|------|----|-----|----|----|----|------|-------|----|------|------|-------|-------|-----|
|      | 教授 | 准教授 | 講師 | 計  |    |      |       |    |      |      |       |       |     |
| 理工学部 | 31 | 5   | 1  | 37 | 3  | 0    | 1     | 2  | 2    | 2    | 25    | 0     | 72  |
| 経営学部 | 15 | 6   | 0  | 21 | 0  | 0    | 0     | 0  | 3    | 1    | 7     | 0     | 32  |
| 人間学部 | 18 | 5   | 0  | 23 | 3  | 2    | 2     | 0  | 0    | 4    | 49    | 0     | 83  |
| 計    | 64 | 16  | 1  | 81 | 6  | 2    | 3     | 2  | 5    | 7    | 81    | 0     | 187 |

※学長は、理工学部教授に含む。

※兼任教員は、年度途中に退職した教員を除き、平成28年度に在職した教員数を計上している。

#### (5) 職員

専修大学

| 区分    | 人数  |
|-------|-----|
| 実習助手  | 2   |
| 職員    | 311 |
| 常勤嘱託  | 31  |
| 特別嘱託  | 8   |
| 非常勤嘱託 | 176 |
| 雇員    | 79  |
| 計     | 607 |

石巻専修大学

| 区分    | 人数 |
|-------|----|
| 職員    | 28 |
| 特別職員  | 1  |
| 常勤嘱託  | 12 |
| 特別嘱託  | 2  |
| 非常勤嘱託 | 6  |
| 雇員    | 6  |
| 計     | 55 |

※非常勤嘱託には、社会知性開発研究センターPD（ポスト・ドクター）・RA（リサーチ・アシスタント）を含む。

※非常勤嘱託を複数発令されている者は、発令件数分計上する。

※非常勤嘱託は、年度途中に退職した者を除き、平成28年度に在職した非常勤嘱託の人数を計上している。

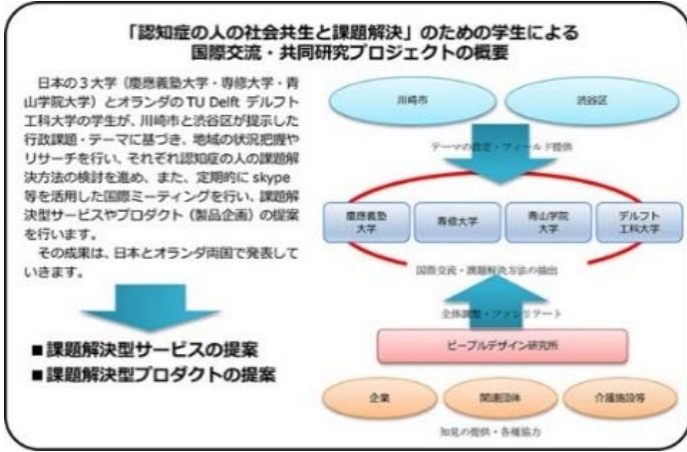
※石巻専修大学出向者2名は、石巻専修大学の人数に含む。



【専修大学】

ネットワーク情報学部で国際交流・共同研究プロジェクトを開始

専修大学ネットワーク情報学部は、3年次生21名による「ピープルデザインプロジェクト」(担当:栗芝正臣准教授、佐藤慶一准教授、須藤シンジ兼任講師)を4月からスタートさせた。このプロジェクトは、学生が目線で、認知症の人やその家族が快適に暮らせる社会を創造する試みで、自治体(川崎市・渋谷区)、国内外3大学(慶應義塾大学・青山学院大学・オランダ デルフト工科大学)、団体(NPO法人ピープルデザイン研究所)など、多様な主体と連携する国際交流・共同研究プロジェクトである。



矢野学長お別れの会

学校法人専修大学は、平成28年4月25日に67歳で急逝した矢野建一学長の「お別れの会」を、平成28年6月25日にホテルグランドパレスにおいて開催した。大学関係者や友人、教え子らが1000名を超えて参列。教育者、研究者として専修大学の発展に力を尽くした矢野学長との別れを惜しんだ。



大関稔さんがアマ本因坊・学生本因坊に

第60回日本学生本因坊決定戦(毎日新聞社、全日本学生囲碁連盟主催 開催日:平成28年8月6日~7日 開催地:千代田区)で大関稔さん(商学部2年次)が初の学生本因坊に。その勢いのまま、第62回全日本アマチュア本因坊決定戦全国大会(毎日新聞社、日本棋院主催 開催日:平成28年8月20日~21日 開催地:千代田区)で初優勝を果たした。



さらに、大関さんは、第15回世界学生囲碁王座戦(日本経済新聞社主催 開催日:平成29年2月22日~23日 開催地:中央区)において、史上初の連覇を遂げた。

黒田投手 日米通算200勝を祝う

広島東洋カープの黒田博樹選手(平成9年商学部卒)が達成した日米通算200勝の記念セレモニーが平成28年8月10日にマツダスタジアム(広島市)で催され、佐々木重人商学部教授(9月1日から学長)と小宮多喜次校友会長がかけつけた。佐々木教授からは専大メモリアルリングと「センディ」のぬいぐるみを、小宮校友会長からは仲川恭司名誉教授が揮ごうした「鳳」の書をそれぞれ贈呈し卒業生の快挙を祝った。



佐藤慶一ネットワーク情報学部准教授が日本計画行政学会で奨励賞

佐藤慶一ネットワーク情報学部准教授は、日本計画行政学会第39回全国大会(開催日:平成28年9月9日~10日 開催地:西宮市)において、同准教授による論文「東日本大震災による液状化被害への家計対応と行政支援~千葉県浦安市及び習志野市の激甚被災地域を対象とした比較分析~」が、計画行政学の分野で将来への発展性のある優れた研究成果と認められ、学会奨励賞を受賞した。



野球部・森山恵佑さんが北海道日本ハムファイターズより4位指名

専修大学野球部主将の森山恵佑さん(商学部4年次)が平成28年10月20日のドラフト会議で、北海道日本ハムファイターズから4巡目で指名された。

北海道日本ハムファイターズは11月23日、札幌ドームで開催した「ファンフェスティバル2016」の新人紹介において森山さんを紹介。同時に背番号「44」が発表された。



また、森山さんは、東都大学春季リーグ戦(期間 平成28年4月5日~5月25日)において、ベストナイン(外野手)に選出された。

森本祥一経営学部准教授が情報システム学会 ベストペーパー賞受賞

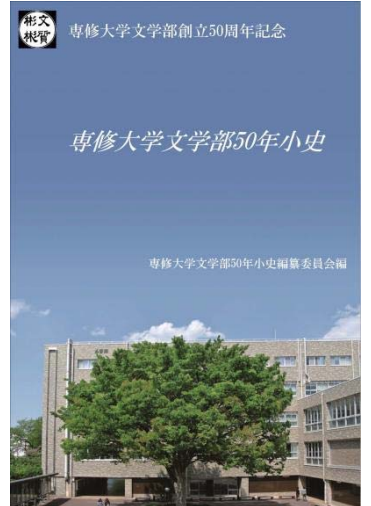
森本祥一経営学部准教授は、「情報システム学会 第12回全国大会・研究発表大会(開催日:平成28年11月12日~13日 開催地:富山市)」において、「情報システム論に基づく地域活性化アプローチの実践と効果の分析」を発表し、ベストペーパー賞を受賞した。



文学部創立50周年記念事業

専修大学文学部は平成28年度に創立50周年を記念し、「伊能忠敬の原寸大復元図フロア展示」(開催日 平成28年8月6日・7日)や「翻訳がひらく未来(講演会)」(開催日 平成28年10月1日)のほか、鳥取県や沖縄県といった地方でのイベントなど11種の記念企画を外部団体からの支援なども受け、年間を通して開催した。

また、平成28年12月6日には生田校舎9号館で祝賀会を開催した。さらに、文学部の50年を振り返る「専修大学文学部50年小史」を編纂・発行(平成29年3月21日 発行)した。



## 相撲部福山聖和主将が藤島部屋へ入門

専修大学体育会相撲部主将の福山聖和(ふくやま せな)さん(商学部4年次)が大相撲の藤島部屋へ入門(平成29年春)することとなり、藤島親方(元大関・武双山、専修大学出身)と蒲田監督同席の下、平成28年12月13日に生田キャンパスで記者会見が行われた。

鹿児島県奄美大島出身の福山さんは、172cm、100kgと小兵ではあるが、下手投げ、ひねり技、居反りなどの多彩な技を駆使し、平成28年9月に行われた全国学生相撲個人体重別選手権100kg未満級で3位入賞を果たすなど、活躍してきた。



## 「マーケティング分析コンテスト2016」で最優秀賞

消費者マーケティングデータのデータ分析により、斬新なビジネスの法則、マーケティング指標等を導き、その内容を競う「マーケティング分析コンテスト2016」(主催:野村総合研究所)において、大学院文学研究科心理学専攻の北條大樹さん(修士1年次)、田中利夫さん(修士2年次)、杵取恵太(そまとり けいた)さん(博士1年次)、坂本次郎さん(博士1年次)の報告が、最優秀賞(最終審査会 平成28年12月13日)に選ばれた。北条さんらの報告は「非耐久消費財におけるテレビ広告の統合効果と年次の推移一階層ベイズモデルによるメタ分析&メタ回帰分析」で、商品カテゴリー別、統合レベルでTV広告の効果を推定している点などが評価された。



## 神奈川産学チャレンジプログラム 今大会最多56チームが応募 最優秀賞6チーム、優秀賞10チームが表彰

一般社団法人神奈川経済同友会が主催する「第13回神奈川産学チャレンジプログラム」の表彰式が平成28年12月14日に行われ、本学は、6チームが最優秀賞、10チームが優秀賞を受賞した。

神奈川産学チャレンジプログラムは、神奈川県内の大学と神奈川経済同友会に加盟する企業の産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペ。本年度は、34企業からの38テーマに19大学222チーム(851名)が応募し、本学からは最多となる56チームが参加した。

また、同プログラムにおいて、商学部マーケティング学科・鹿住倫世ゼミナールの3年次生6名が春をテーマに考案した弁当が、京急ストア(本社東京都港区)で商品化され、平成29年3月17日から販売が始まった。



## 最優秀賞の6チーム

| 企業           | テーマ  | 指導教授  | 学生                                   |
|--------------|--|-------|--------------------------------------|
| SMBC日興証券横浜支店 | 学生・若手社会人の将来の資産形成について、SMBC日興証券としてどのような提案が有効的か             | 高橋 義仁 | 河村 祐希、千葉 ますみ、廣本 勇樹、花田 祐菜             |
| 京急システム       | 京急グループとコラボレートできる新しいITサービス                                | 関根 純  | 乾 優花、川端 将敬、尾形 知香、滝口 美憂               |
| 東急建設         | 「建設現場の〇〇にインパクトを与えるICT活用の提案」                              | 森本 祥一 | 荒井 りら、宮瀧 葵、野口 桃那、宮下 太希               |
| 京急ストア        | 「春のお弁当をプロデュースしてください〜売場にあなただいアを〜」                         | 鹿住 倫世 | 上村 明日実、上野 由佳、近藤 文香、岡田 柚奈、富永 望美、石川 真実 |
| 横浜ステーションビル   | インバウンドの拡大に向け、シェア鶴見で開催している「禅イベント」を訪日観光客にたいし情報発信し、効果上げていくか | 間嶋 崇  | 川瀬 拳太、杉浦 瑞萌、大矢 純輝、藤井 貴子              |
| 横浜銀行         | 学生・新社会人に選ばれる銀行となるための事業戦略〜新たな商品・サービス・マーケティング手法の提案〜        | 馬場 杉夫 | 内野 浩輔、横内 あり沙、佐藤 桜子                   |

## 「一番福」に鈴木隆司さん

平成29年1月10日に商売繁盛の神様の総本社、西宮神社(兵庫県西宮市)で行われる「開門神事福男選び」において、鈴木隆司さん(経済学部3年次)が本殿にいち早く到達し、「一番福」を勝ち取った。

鈴木さんは、岩手県出身で大船渡市に住んでいた中学3年生の時に東日本大震災が発生し被災した。「全国から温かい支援をもらった。福を分け、自分が役に立てることはなんでもやって恩返ししたい」と語った。



## 体育会各部の活躍

専修大学体育会は、昭和8年の体育会発足以来、全日本クラスで活躍する選手やチーム、世界のトップに踊り出た名選手を多く輩出し続けている。平成28年度においても、全日本学生選手権、アジア大会、ワールドカップなど、数々の大会で活躍した。主な活動成績は以下のとおり。



| 団体名       | 主な活動成績   |
|-----------|--|
| スピードスケート部 | 世界距離別選手権(開催日:平成29年2月9日~12日 開催地 韓国)で、土屋良輔さん(経営学部4年次)が日本記録、冬季アジア札幌大会(開催日:平成29年2月19日~26日 開催地:帯広市)で土屋良輔さんが5千、1万円、チームバッシュで銀メダル、近藤太郎さん(経営学部4年次)が1500mで銅メダルなど。        |
| 卓球部       | 春季関東学生リーグ戦(開催日:平成28年5月6日~22日 開催地:埼玉県所沢市ほか)で女子が優勝、男子が2位、天皇杯・皇后杯全日本卓球選手権(開催日:平成29年1月16日~22日 開催地:東京都渋谷区)で田添健汰さん(商学部3年次)が混合ダブルスで2大会連続3度目の優勝など。                     |
| レスリング部    | 全日本選抜レスリング選手権(開催日:平成28年5月27日~29日 開催地:東京都渋谷区)で中村倫也さん(商学部4年次)がフリースタイル57kg級で優勝、全日本学生レスリング選手権(開催日:平成28年8月25日~28日 開催地:大阪府堺市)で河名真寿斗さん(文学部4年次)がグレコローマンスタイル59kg級で優勝など。 |
| フェンシング部   | 菊池小巻さん(商学部2年次)が全日本学生選手権大会(開催日:平成28年11月16日~20日 開催地:京都府大山崎町)女子フルール個人優勝、全日本フェンシング選手権(開催日:平成28年12月1日~4日 開催地:東京都世田谷区)個人戦で優勝など。                                      |
| スキー部      | 馬場直人さん(経営学部2年次)が冬季アジア札幌大会(開催日:平成29年2月19日~26日 開催地:札幌市ほか)クロスカントリースキーで15kmフリーで銀メダル、リレー(4×7.5km)で金メダル、宮橋スキー大会国際競技会(開催日:平成29年3月2日~5日 開催地:札幌市)クロスカントリー男子15kmで優勝など。   |

## 【石巻専修大学】

### 女子競走部の活躍

石巻専修大学女子競走部の川崎美祈さん(人間学部 2 年次)、原田詠麻さん(経営学部 2 年次)が「第 26 回かすみがうらマラソン(兼国際盲人マラソンかすみがうら大会)」(開催日 平成 28 年 4 月 17 日)10 マイル女子の部において、川崎さんが 3 位、原田さんが 4 位に入賞した。



また、「第 26 回仙台国際ハーフマラソン大会」(開催日 平成 28 年 5 月 8 日)女子ハーフの部において、原田さんが 7 位、川崎さんが 8 位に入賞した。

さらに、第 34 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(6 区間 38km、オープン参加 1 チーム含む 26 チームで競う)(開催日:平成 28 年 10 月 30 日)に 2 年連続 2 度目の出場を果たし、初出場だった昨年の成績を上回る 21 位と健闘した。

### 亀山充隆理工学部教授が「ULSIWS 貢献賞」を受賞

石巻専修大学亀山充隆理工学部教授は、IEEE※ Technical Committee on Multiple-Valued Logic(IEEE 多値論理技術委員会)より「ULSIWS 貢献賞」を受賞(平成 28 年 5 月 17 日)した。

※IEEE(アイトリプルイー・日本語訳:米国電気電子学会)アメリカ合衆国ニューヨークに本部がある非営利団体で、世界 160 カ国以上に 395,000 人以上の会員を擁する技術者組織。コンピュータ、バイオ、通信、電力、航空、電子等の技術分野を扱い、国際会議の開催、論文誌の発行、技術教育、標準化などの活動を行っている。



### 「『大学は美味しい!!』フェア」に 3 年連続出展

石巻専修大学の経営学部石原慎士ゼミナールと理工学部鈴木英勝研究室は、新宿高島屋で開催された「第 9 回大学は美味しい!!フェア」(開催日:平成 28 年 5 月 26 日~31 日)に参加した。

「石巻・飯野川発サバだしラーメン」、「鳥取・境港発カニだしラーメン」、「宮城・石巻発シャケだしラーメン」に加えて「石巻・飯野川発どぶ漬け唐揚げ」の宣伝や販売を行った。



また、熊本地震のため参加できなくなった東海大学農学部が開発した「阿蘇の紅(紫いもデザートソース)」を宮城県の「ササニシキアイス」にかけたコラボ商品「宮城県産ササニシキのアイス」(1 日 30 食限定)も販売した。



さらに、「第 8 回フード・アクション・ニッポンアワード 2016」において、「鳥取・境港発カニだしラーメン」が 1,008 製品の応募の中から「入賞」100 製品に選定された。

### 特別教室「自動車の将来と電気自動車の構造」を実施

石巻専修大学は、平成 28 年 11 月 25 日、石巻市立山下小学校 5 年生(35 名)を対象に、山本憲一理工学部教授が特別教室として「自動車の将来と電気自動車の構造」をテーマに授業を行った。自動車の将来を学びながら、電気自動車模型の製作を通して自動車の理解を深めるため、自動車技術会と本学との併催で企画されたもので、同小学校の社会科学授業の一環として行われた。さらに、本学の機械工学科自動車工学コース 4 年次生 13 名が児童の模型製作を手伝った。



### 「石巻市における復興への足取り」を刊行

石巻専修大学復興共生プロジェクトは、「東日本大震災石巻市における復興への足取り - 家政学の視点で生活復興を見守って -」を平成 28 年 11 月 30 日に刊行した。

本書は、日本家政学会の「東日本大震災生活研究プロジェクト」と、本学の「石巻専修大学復興共生プロジェクト」が連携して進めている活動の報告などをまとめたもので、本学同窓会会長の伊東孝浩氏、坂田隆教授へのインタビューなども収録されている。

### 「PNT 東北学生支援プロジェクト 2016」で助成対象に選定

石巻専修大学経営学部「岡野ゼミナール」と「田村ゼミナール」は、学生が主体となって取り組む復興支援活動への資金助成「PNT 東北学生支援プロジェクト 2016」に応募し、両ゼミナールが企画したプロジェクト(「簿記で Re-Start」と「生産性向上協力隊」)が平成 28 年 12 月 11 日に助成対象として選定された。



今回助成対象に選定された「簿記で Re-Start」は、将来の会計人の育成のきっかけをつくることを目的に簿記・会計のセミナーを寺子屋式で実施するもの。一方、「生産性向上協力隊」は、企業の生産性の現状を調査し、生産性の向上策を企業に提案する活動で、いずれのプロジェクトも被災地域の復興さらには地域創生の一助となるよう現在進行中で活動している。 ※「PNT 東北学生支援プロジェクト 2016」は、地域創造基金さなぶり(公益財団法人)が Print Next Troops からの寄付を資源として開始した助成事業。



### 「日本復興の光大賞 17」特別賞を受賞

日本トルコ文化交流会が主催する「第 3 回エルトゥール号からの恩返し 日本復興の光大賞 17」の表彰式が平成 29 年 2 月 27 日に明治記念館にて開催され、「復興ボランティア学」を運営している経営学部の山崎泰央ゼミナールが、特別賞を受賞した。



### 株式会社楽天野球団の連携協力に関する協定締結

石巻専修大学は、平成 29 年 3 月 17 日に、楽天 Kobo スタジアム宮城にて、「石巻専修大学と株式会社楽天野球団の連携協力に関する協定」の締結式を行った。この連携協定は、石巻専修大学と株式会社楽天野球団が密接に連携協力して、双方の人的・物的・知的資源の活発な交流と活用を図り、地域活性化への貢献とスポーツ振興に寄与することを目的としている。



この連携の下で、地域を支えていく人材の育成と地域の活性化を目指した「高大産(高校・大学・産業)連携プロジェクト」を実施することとしている。



### Ⅲ 事業の概要

学校法人専修大学は、21世紀ビジョン「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」のもと、教育・研究体制の改革に取り組むとともに、「学生を基本に据えた大学づくり」を念頭に大学運営を行っている。

専修大学創立140周年・石巻専修大学創立30周年を迎える向こう5年間(平成28年度から平成32年度)は、「確たる大学基盤の整備」を事業推進の指針に据え、7つの事業領域(「教育」「研究」「学生支援」「グローバル」「入試」「社会連携」「経営・財務」)を中心に強化を進め、学校法人専修大学創立150年に向けて、大学基盤の整備を推進することとしている。

各事業領域における平成32年度までの到達目標は、以下のとおりであり、平成28年度は、各領域での目標達成に向けて、後述する事業の推進を図った。

- ①教育領域／専修大学及び石巻専修大学は、「専門的な知識・技術とそれに基づく思考方法を核としながらも、深い人間理解と倫理観を持ち、地球的視野から独創的な発想により主体的に社会の諸課題の解決に取り組んでいける能力」の育成を目指している。その実現に向け、内部質保証システムの機能を高め、全学的な教育マネジメントサイクルによる教育課程の編成を行う。
- ②研究領域／専修大学及び石巻専修大学は、研究活動によって創出された新たな「知」を蓄積し、継承・発展をさせることにより、社会の持続的発展の基盤形成に貢献するとともに本学のプレゼンスを高める。
- ③学生支援領域／専修大学及び石巻専修大学は、学生一人ひとりの自己実現に向けて、学修及びキャリア形成並びに学生生活のサポート体制を更に充実させる。
- ④グローバル領域／専修大学及び石巻専修大学は、国際交流・異文化理解の相互体験を充実させ、グローバル社会において、社会の要請に応える人材の育成を推進する。
- ⑤入試領域／専修大学は、全国から多様かつ質の高い学生を受入れるとともに、高い選抜性を維持するため、志願者40,000人以上の継続的確保を目指す。石巻専修大学は、石巻圏域から安定的に学生を確保し、地域人材の育成につなげる。
- ⑥社会連携領域／専修大学は、研究領域で創出された「知」を広く社会に発信するとともに、ボランティア活動等の諸活動を通して地域社会の発展に寄与する。石巻専修大学は、石巻圏域の中核として地域社会と連携し、地域社会の発展に寄与する。
- ⑦経営・財務領域／学校法人専修大学は、大学力強化に向けた改革を推進するために、財政基盤の改善・強化を図るとともに、事業の継続的な発展に向けた取組みを行う。

#### 主な事業の目的・計画及び進捗状況

##### 1 教育領域

##### (1) 学士課程における体系的な教育課程編成

###### 【専修大学・石巻専修大学】

専修大学及び石巻専修大学は、内部質保証システムの機能を高めるため「入学者受入れ方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「卒業認定・学位授与の方針」の三つのポリシーの一体的な策定を図った。

専修大学では、全学部・学科における三つのポリシーを改正した。このことにより、特に「卒業認定・学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」については、一貫性・整合性のある内容となった。

なお、三つのポリシーについては、平成29年4月1日にホームページ等で公表する。

石巻専修大学では、平成28年3月に3学部で統一を図る三つのポリシーの策定を行った。これを受け、3学部において平成29年度新カリキュラムとの整合性等も図りながら再検証を図り、その結果、平成28年8月に新たな三つのポリシーを大学ホームページで公表した。

###### 【専修大学】

###### ①教育の質的転換に向けた取組み

専修大学は、教育の質的転換に向けた取組みの一環として、平成28年度は「カリキュラム・マップ」及び「コース・ナンバリング」の検討を図った。「カリキュラム・マップ」は、全学カリキュラム協議会において、次期カリキュラム改正に向けての準備段階の作業と位置付け、現行カリキュラムに基づいて作成し、主に全学カリキュラム協議会内部において、現行カリキュラムの検証及び卒業認定・学位授与の方針の検証に利用した。

また、「コース・ナンバリング」については、平成28年6月以降の全学カリキュラム協議会で検討を重ね、平成29年3月1日の同協議会で『『コース・ナンバリング』について(報告)』を取りまとめ、3月17日に副学長から学長に報告を行った。

###### ②教育成果の測定及び検証

専修大学は、法学部を除く6学部において、大学生基礎力レポートⅠ<sup>※1</sup>及びⅡ<sup>※2</sup>を実施した。

同レポートの結果については、教育開発支援委員会が、正答率とGPAとの相関を分析するなど学士課程教育の検証を行った。分析結果については、『教育開発支援 NEWSLETTER No. 33』に報告書の要旨を掲載し教職員の情報共有を図った。

※1 株式会社ベネッセ i-キャリアが提供する、全国の大学1年生9万人が受検する調査。

(1年次 平成28年3月30日 受検率98.2%)

※2 株式会社ベネッセ i-キャリアが提供する、学生が振り返りと目標の再設定ができる調査。

(2年次 平成28年3月29日 受検率86.9%)

3年次 平成28年3月26・28日 受検率68.7%)

###### ③卒業生アンケートの実施

専修大学は、平成28年3月22日の卒業式・学位記授与式において、学部(一部及び二部)の卒業生を対象とする「卒業生アンケート」を実施した。有効回答は、3,575件(有効回答率86.6%)であった。

なお、アンケートの結果は、教育開発支援委員会が集計し、学部長会等で報告した。

###### 【石巻専修大学】

###### ①GPA及びCAP制度の円滑な運用と活用

石巻専修大学は、GPA制度及びCAP制度を平成25年度に導入して以来、学生及びその保護者に対して、両制度理解のための説明に努めている。平成28年度も石巻専修大学育友会支部懇談会を通じて説明を行った。

また、GPAの成績については、「在学生特別奨学生」や「特待生入試奨学生」等の奨学生制度において、採用時や継続時の参考資料として活用した。

## ②全学的なカリキュラム検討

石巻専修大学は、平成 29 年度からの導入を目指して、全学的な教養教育及び専門教育の検討を図った。平成 29 年度から新たに導入するカリキュラムの特色は以下のとおり。

### (ア)いしのまき学

地域の課題等を理解した人材を育成するため、「いしのまき学」を全学共通の必修科目として導入する。

(イ)フューチャー・スキル・プロジェクト(FSP)講座  
東北で初の試みとして、「ビジネス演習入門」でフューチャー・スキル・プロジェクト(FSP)講座を経営学部の初年次教育として導入する。「FSP」は、学生の主体的な学びの姿勢をつくりだす産学協同の講座で、1 年次より実践的な企業の課題に触れることによって、現在の自分と社会とのギャップを知り、学習意欲の向上へつなげながら、学生の主体性を引き出す効果が期待される。

### (ウ)学科間ジョイント・プログラム

3 学部 7 学科(理学、工学、経営学、文学、教育学、社会学の 6 分野)の利点を踏まえ、学科間の相互履修を生かす仕組みとして「学科間ジョイント・プログラム」を導入する。

一定の体系性を有する他学科の科目群(8 単位まで)を 1 つのユニットとして、自学科の履修モデルに組み入れる。他学科専門科目を学ぶことにより、プラス  $\alpha$  の知識等を身につけることができるため、その後の進路選択の幅が広がることが期待される。

## (2)学士課程における能動的学修への転換

### 【専修大学】

#### ①アクティブ・ラーニングの支援体制強化

専修大学図書館は、生田 9 号館のアクティブラーニング・プラザ(図書館本館 4 階)及び神田 5 号館ラーニング・commonsの利用促進のため、後期授業期間からゼミナール等の利用について、教授会などで周知し、同施設の活用促進を図った。

また、神田 5 号館ラーニング・commonsでは、昼休みの時間を利用して、本学法学部教員による、法学に関連した聴講型のイベントを開催した。

#### ②アクティブ・ラーニング推進の学修環境整備

専修大学は、平成 29 年 4 月から利用を開始する生田 2 号館(地下 1 階・地上 2 階建 平成 28 年 12 月完成)において、音響・映像設備が充実した「Active! Studio 202(168 人収容)」、「LEARNING THEATER 201(198 人収容)」を中心に、アクティブ・ラーニングを促進させるための学修支援機能を整備した。



さらに、全ての教室に設置した視聴覚設備は、より容易な扱いで映像資料を扱えるようにするとともに、地下のスタジオ教室にはプレゼンテーション機能を高めたシステムを導入した。

#### ③「respon」導入の決定

専修大学は、アクティブ・ラーニングの手法を取入れた授業を全学的に展開するため、「respon」\*の導入を決定した。さらに、平成 29 年度から導入する同システムについて、平成 29 年 2 月 23 日に操作説明会を実施した。

\*respon は、講義などでスマートフォン等の情報機器を使って、教員と学生とのリアルタイムなコミュニケーションを実現するシステム。学生の質問や回答を集め、結果を即時にビジュアル化して示すなど、授業への積極的参加を支援する機能がある。

### 【石巻専修大学】

石巻専修大学は、FD 委員会が中心となり、教育の質的転換に向けた活動の一環として、アクティブ・ラーニング等をはじめとして、先進的な試みをしている教育関係者を招聘した教員セミナーを開催(年間を通して全 5 回)した。

また、「教える場」から「学びの場」へ、教員の意識転換を促す活動として、「授業研究会」を実施し、各学部代表の教員が、授業における工夫、留意点及びアクティブ・ラーニングに関する取組みについて発表を行った。

## (3)学士課程におけるキャリア教育の推進

### 【専修大学】

#### ①キャリア教育の体系化

専修大学は、2 年次以上配当の選択科目として、新たに「新領域科目 303(テーマ:キャリア開発)」を平成 29 年度から開講することを決定した。履修規模は生田校舎で 100 名程度、神田校舎で 50 名程度となる。なお、同科目は、平成 26 年度開設の「キャリア入門」、平成 27 年度開設の「新領域科目 302(テーマ:キャリア研究)」に続く 3 番目の科目設置となる。

#### ②講座の単位認定

専修大学経営学部は、キャリアデザインセンターの課外講座である「専修リーダーシップ開発プログラム」を平成 29 年度から単位認定(2 年次以上が認定対象)することを決定した。



#### ③インターンシップの拡充

専修大学キャリアデザインセンターは、インターンシップの取組みとして、正課授業に加えて課外プログラムを拡充し、かつ学生に豊富な情報提供ができる環境を整備している。平成 28 年度は、新たに中長期インターンシップを開発した。同プログラムは約半年間の実習を通じ、働くことを深く理解させるものである。さらに、ベトナムでの海外インターンシップ(期間は 1 週間程度を想定)を平成 29 年度から開始するべく準備を進めた。

### 【石巻専修大学】

石巻専修大学は、平成 29 年度から導入する新カリキュラムにおいて、全学共通科目としてキャリア教育科目「キャリア設計(1 年次)」、「キャリア開発(2 年次)」及び「キャリア研究(3 年次)」を設置することを決定した。さらに、地域の課題等を理解した人材を育成するため、実践系科目の入門となる「いしのまき学」を全学共通の必修科目として導入する。「いしのまき学」は、石巻地域の行政機関や企業などから講師を招き、地域の現状や課題について理解を深めながら、学生の問題意識を高めることで、学びの場が地域社会全体に広がることを目指している。

## (4)学士課程における教育組織の改革

### 【専修大学】

#### ①専修大学新学部・新学科設置の検討

専修大学は、平成 28 年 4 月 20 日に学長を統括責任者とした「専修大学新学部・学科設置等準備委員会」を理事会の下に設置し、同委員会の下に、「国際系新学部設置部会」、「商学部神田キャンパス移転部会」、「文学部新学科設置部会」及び「経営学部新学科設置部会」を付置して専修大学新学部・新学科設置等の検討を図っている。

文学部及び経営学部の新学科については、すでに平成 31(2019)年に開設することが機関決定されており、さらに経済学部においても、平成 32(2020)年の新学科開設に向けた検討を開始した。

## ②神田新校舎建設計画の策定

専修大学は、「専修大学キャンパス構想の基本方針検討会」において進められた靖国通り新校地における学部・学科構想に対応すべく、神田新校舎建設に向けた取組みを推進している。平成 28 年度は専修大学神田新校舎建設推進委員会及び神田キャンパス検討会議による検討を通して、新校舎建設の基本構想を確定し、基本設計の作成に取り組んだ。



## (5) 大学院における教育改革の推進

### 【専修大学】

- ①商学研究科修士課程における学期末修了制度の導入  
専修大学商学研究科は、社会人及び外国人留学生をはじめとする学生の学びやすさや修学意欲の向上を目的に、平成 29 年度入学者より学期末修了制度を導入することを決定した。
- ②商学研究科博士後期課程における社会人入学試験制度の導入  
専修大学商学研究科は、平成 32(2020)年度における神田校舎への移転を視野に入れつつ、社会的な要請の広がりに対応するため、平成 30 年度入学試験から新たに博士後期課程における社会人入学試験制度の導入を決定した。
- ③外国人留学生のためのチューター制度の導入  
専修大学大学院は、修士課程に在学する外国人留学生の研究教育の充実を図ることを目的として、外国人留学生が論文又は特定の課題についての研究成果(リサーチ・ペーパー)を作成する際、チューターによる指導や助言等を受けられる支援制度を検討し、平成 29 年度から導入することを決定した。

## (6) 法科大学院における教育の質向上

### 【専修大学】

専修大学法科大学院は、「法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラム」の主要指標である①司法試験の合格率及び法学未修者の司法試験の合格率、②入学定員の充足率、③授業科目の夜間配置について、改善に向けた取組みを強化した。その結果、平成 28 年度は、補助金の配分率を決める法科大学院 5 類型のうち、第 2 類型 B に位置付けられた。

さらに、新たに導入した学習支援プログラム「法学未修者の基礎的学力養成のための授業支援プログラムの開発と実施」が同加算プログラムにおいて「優れた取組」として選定された。

なお、平成 29 年度入学試験においては、志願者が 134 名(前年度比 44.1%増)となった。

平成28年 司法試験合格者数等 (人)

| 出願者数 | 受験者数 | 短答式試験の合格に必要な成績を得た者 | 最終合格者数 |
|------|------|--------------------|--------|
| 104  | 91   | 56                 | 9      |

## (7) ICT 教育の推進(学部・大学院共通)

### 【専修大学・石巻専修大学】

専修大学及び石巻専修大学は、教育研究システムの利用アカウント及び学内 WEB サービス等における統合認証基盤を実現するためのハードウェア更新、システム構築、データ連携プログラム等の開発を行い、平成 28 年 10 月より本稼働を開始した。

また、新しい認証サービスとして、平成 29 年 4 月のサービス開始を目指し、学術認証フェデレーション(学認:GakuNin<sup>※1</sup>)や無線 LAN ローミング基盤

(eduroam<sup>※2</sup>)への対応を図った。

※1「GakuNin」:Web アプリケーションへのシングル・サイン・オン(SSO)技術を、組織を越えて活用する分散型学術認証基盤。[出典:国立情報学研究所(National Institute of Informatics)]

※2「eduroam(エデュローム)」:欧州の GÉANT Association(旧 TERENA)で開発された学術無線 LAN ローミング基盤。日本を含む世界 74 개국・地域で、キャンパス無線 LAN のデファクト・スタンダードになっている。[出典:国立情報学研究所(National Institute of Informatics)]

### 【専修大学】

- ①教育・研究を支援する学内無線 LAN 更新及び拡張  
専修大学は、全学的な情報通信環境である「専修大学統合情報ネットワーク」について計画的に整備・更新を行っている。平成 28 年度は、平成 29 年度 4 月の本稼働を目指し、無線 LAN システムの更新作業を進め、アクセスポイントを 109 台増設し 335 台とした。この拡張により、平成 29 年 4 月より利用開始となる新生田 2・3 号館の全エリア(研究室は除く)に対応するとともに、生田・神田全ての教室・ゼミ室で無線 LAN が利用可能となった。加えて、図書館では閲覧室を中心に無線 LAN の利用可能なエリアが拡張された。
- また、認証方式の変更や高速通信規格(IEEE802.11ac<sup>※</sup>)に対応することなどにより、モバイルデバイス(タブレット端末やスマートフォン等)の利用に対し、利便性の向上を図るとともに、より安全なシステム環境を実現した。
- ※IEEE802.11ac は、理論上 6.93Gbps の超高速通信が可能な次世代無線 LAN の規格。
- ②平成 30 年度導入予定の教育・研究用システムの検討  
専修大学情報科学センターは、平成 30 年 4 月に本稼働予定の教育・研究用コンピュータシステムの更新に向けた検討及び準備を進めている。平成 28 年度は、学内の検討委員会において要求仕様案を策定し、平成 29 年 3 月には導入業者の選定を行った。

## 2 研究領域

### (1) 競争的研究資金の獲得推進

#### 【専修大学・石巻専修大学】

- ①科学研究費獲得の強化  
専修大学及び石巻専修大学は、科学研究費助成事業(科研費)の採択件数の拡大に向けた支援活動を行った。
- 専修大学では、公募説明会や科研費研究計画調書作成説明会の開催等の支援を実施した。その結果、平成 28 年度科研費の新規申請件数は 62 件、採択件数が 25 件となり、新規課題採択率は 40.3%(全国平均 26.4%)で、新規応募件数が 50 件以上の研究機関の中で第 11 位(私大では第 3 位)となった(文部科学省平成 28 年 10 月 13 日公表)。
- また、新規と継続を併せた科研費の採択件数は 89 件となった。
- 石巻専修大学では、科研費を含む学外の研究助成事業に関する情報提供について、積極的な周知を行うとともに、教員セミナーやピアレビューの機会を設けるなどの支援活動を実施し、科研費への申請件数を増加させた。その結果、平成 28 年度科研費の新規申請件数が 31 件、採択件数が 6 件となり、新規課題採択率は 19.4%で、新規と継続を併せた科研費の採択件数は 15 件となった。

②私立大学研究ブランディング事業に向けた対応  
専修大学及び石巻専修大学は、平成 28 年度から開始された「私立大学研究ブランディング事業」への申



請を行った。

石巻専修大学では、「震災復興から地域資源の新結合による産業創出へー草葉起源による内水面養殖業の創出ー」をテーマに申請(タイプ A【社会展開型】)し、選定された。事業期間は平成 28 年度から平成 30 年度までの 3 年間である。

一方、専修大学は、心理科学研究センターを中心とした「ベイジアン・アプローチによる心と消費社会のデータ・サイエンス:実証に基づく社会知性の開発」をテーマに申請(タイプ B【世界展開型】)を行ったが、結果は不選定であった。



## (2) 研究活動の推進及び基盤の整備・充実

### 【専修大学・石巻専修大学】

#### ① 研究活動におけるコンプライアンス対応

専修大学は、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン(平成 26 年 8 月 26 日文科科学大臣決定)」への対応として、平成 27 年 4 月に制定した「専修大学研究活動上の不正行為の防止及び不正行為への対応に関する規程」に基づき、研究倫理教育のテキストを全教員へ配付し、研究倫理全般についての認識を高めることに努めた。さらに、平成 29 年度に就任する専任教員からは、研究倫理の理解について日本学術振興会が運営する e ラーニング教材を利用することを決定した。

石巻専修大学は、「石巻専修大学における研究活動の不正行為等の防止及び対応に関する規程」(平成 28 年 4 月 1 日)を制定し、規程等の運用とその実効性の確保等を検証しながら、研究環境の改善を図った。

また、研究活動等コンプライアンス委員会では、教員セミナーを 2 回実施した。さらに、同委員会では、学生・大学院生に対するコンプライアンス教育等についても検討し、平成 29 年度のオリエンテーション・ガイダンスにおいて、関連資料を配布し、研究倫理の理解を促進することを決定した。

#### ② 公的研究費の管理体制の整備

専修大学は、研究における不正を未然に防ぐ環境を整備するため、「専修大学公的研究費の運営及び管理規程」の一部改正、「専修大学における研究活動規範」の改定を行うとともに、不正使用防止計画等を策定して、教授会、説明会を通して学内への浸透を図り、意識の向上に努めた。平成 28 年度では、文科科学省の「機関におけるガイドラインに基づく体制整備等の状況について把握する履行状況調査」が行われたが、「体制整備・運用に係る改善事項は特になし」との総合所見を得た。

石巻専修大学は、「研究活動等コンプライアンス委員会」を 2 回開催し、公的研究費の管理のあり方、倫理教育等について幅広く協議した。

### 【専修大学】

専修大学社会知性開発研究センターは、「社会知性の開発」を達成するために、国際社会に対応し得る学術・文化の幅広い分野における専門的、学術的な総合研究・教育活動を推進している。本センターの下、平成 28 年度に研究活動を行った拠点は、文科科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に選定された研究プロジェクトをはじめとする次の 6 拠点である。



写真は古代東ユーラシア研究センター 第 4 回シンポジウム「古代東ユーラシアにおける『人流』と地域社会」の様子

- 古代東ユーラシア研究拠点  
「古代東ユーラシア世界の人流と倭国・日本」  
(私立大学戦略的研究基盤形成支援事業)
- ソーシャル・ウェルビーイング研究拠点  
「アジアにおけるソーシャル・ウェルビーイング研究  
コンソーシアムの構築」  
(私立大学戦略的研究基盤形成支援事業)
- アジア産業研究拠点  
「メコン諸国における経済統合の中小企業への影響  
についての研究-ASEAN サプライチェーン  
の観点から-」  
(私立大学戦略的研究基盤形成支援事業)
- 日中企業連携研究拠点  
「川崎中小製造業の高度化に向けた可能性調査  
-中国長江デルタ・華南地域などに見る事例研究-」  
(川崎市との共同事業)
- 四川・ローカルリスクコミュニケーション研究拠点  
「四川省における基層組織の「危機」対応の形成過程  
とその変容:日本におけるCrisis management, Risk  
communication, resilienceの視点から」  
(中国・四川師範大学「日本研究専門プログラム」)
- 心理科学研究拠点  
「ベイジアン・アプローチによる心と消費社会のデータ  
サイエンス」  
(学内研究プロジェクト)

## (3) 産学官連携による研究促進

### 【専修大学】

専修大学は、社会知性開発研究センターが推進する「日中企業連携研究拠点」において、川崎市と協議しながら、上海市及びその周辺都市の日系・中国中小企業の調査研究を進めた。平成 28 年度は、華南地域の調査結果を踏まえた研究会を「川崎ものづくり系中小・ベンチャー企業向け 中国企業との連携促進セミナー」を平成 29 年 2 月 2 日に開催した。

また、小田急電鉄との連携では、平成 28 年度も経済学部にて寄付講座を受入れるとともに、経済学部徳田賢二教授のゼミナールによる「小田急新百合ヶ丘エルミロードの販売促進に向けたイベント」を平成 28 年 8 月 13・14 日に実施した。

### 【石巻専修大学】

#### ① 産学金連携「三陸産業再生ネットワーク」の取組み

石巻専修大学は、地域産業の復興を目的に、石巻信用金庫、石巻商工会議所、気仙沼信用金庫及び気仙沼商工会議所の 5 者で設立した「三陸産業再生ネットワーク」の下、販路開拓研究事業や被災企業調査事業を実施するなど、産学金が相互に連携して地域経済の再生に向けた取組みを推進している。

平成 28 年度は、被災企業の生産設備の復旧率・稼働率に関する調査を実施(平成 28 年 7 月 29 日～8 月 22 日)したほか、販路開拓として町田まちづくり公社と協力し、三陸・町田フレンズフェスタを開催(平成 29 年 2 月 23・24 日 開催地 東京都町田市)するなどの取組みを推進した。

#### ② 産学官連携の推進

石巻専修大学は、自動車関連産業集積部会の IM プロジェクトにおいて、自動車工学センターの支援の下、自動車関連商品等の開発や技術力向上を目的に活動しており、平成 28 年度は主として EV コンバート車の制作について検討した。

また、石巻信用金庫との「IS プロジェクト」では、インターンシップ(学生 9 名参加)、IS 研究助成成果発表会(10 月 13 日、石巻信用金庫職員・本学教職員約 60 名参加)を実施した。

さらに、包括連携協定を結ぶ石巻市との「石巻地域連携協力推進会議」では、市役所の要望事項を協議し、1 件を共創研究センターの平成 28 年度プロジェクトとして選定した。

### 3 学生支援領域

#### (1) 就職支援の強化

##### 【専修大学】

##### ① 支援講座の充実と進路把握の強化

専修大学は、インターンシップに参加する学生の増加傾向に対応するべく、平成28年度のガイダンス期間中に就職課とキャリアデザインセンター事務課との共催により、新3年次生を対象とした「インターンシップ・就職ガイダンス」を実施した。

また、就職課では、進路把握の強化を図るべく、ゼミナール担当の教員の協力も得て、学生からの進路届提出の促進を図った。それに加えて、平成28年度卒業生対象の「卒業後の進路調査」は、平成29年4月中旬まで調査を継続し、卒業生の進路先の把握に努める。  
※＜参考＞平成28年度就職希望者就職率(一部)は95.8%(前年度比0.2%増)、卒業生就職率(一部)は84.8%(前年度比1.3%減)となる。

※卒業生の進路については、33頁参照。

##### ② 地方自治体との就職協定締結の推進

専修大学は、地方自治体と相互に学生の就職活動を支援し、県内企業の人材確保・産業の活性化を図るため、就職支援協定の締結を推進した。

平成28年度は、山形県、新潟県、秋田県、札幌市、宮城県、福島県、熊本県、福岡県、佐賀県、青森県、石川県、大阪府と就職支援協定を締結し、前年度までの分と合わせて、計16府県1市となった。

##### 【石巻専修大学】

石巻専修大学は、「進路ガイダンスの質の向上」、「個別相談体制の強化」、「教職員の連携強化」の三つの強化策を図ることで、「就職率100%」を目指している。

「進路ガイダンスの質の向上」については、1年次に社会人基礎力を意識したガイダンスを実施し、2年次には、キャリア教育と連携して、社会のしくみや働くこと、就職活動等について学ぶことを通じて自己のキャリアをデザインすることを意識したガイダンスを実施した。更に3年次には、就職活動の基礎から実践まで幅広くガイダンスを実施した。

「個別相談体制の強化」については、3年次生に対して履歴書の作成を義務付けて、履歴書添削の指導を実施した。

「教職員の連携強化」については、ゼミナール担当の教員及び研究室の指導教員を対象とした「就職状況調査」を年4回(7月、10月、12月、2月)実施することにより、学生の就職状況についての情報共有を積極的に行なった。

※＜参考＞平成28年度就職希望者就職率は95.9%(前年度比2.0%増)、卒業生就職率は80.1%(前年度比2.7%増)となる。

※卒業生の進路については、33頁参照。

#### (2) 資格試験等指導講座の充実

##### 【専修大学】

専修大学は、国家公務員総合職試験をはじめとする各種公務員試験、公認会計士試験、教員採用試験、法科大学院入学試験などの難関試験において、上位合格者数の増加を目指すため、支援体制の強化を図った。

また、新たな講座としては、社会人基礎力を養成することを目的に「次世代リーダープログラム」を開講し、さらに、説得力のある文章を書くことができる能力を鍛えることを目的に「小論文検定対策講座」も開設した。

＜参考＞平成28年度各種試験合格状況

- ◆国家公務員採用総合職試験 4名
- ◆公認会計士試験 18名(卒業生9名含む)
- ◆教員採用試験 30名(公立学校で専任。但し期限付採用3名含む)

※「次世代リーダープログラム」の受講生は、社会人基礎力協議会主催、経済産業省が共催する「社会人基礎力育成グランプリ」関東地区予選大会に出場し、奨励賞を受賞した。さらに、公務員試験講座において、国家総合職採用試験の合格を目指している学生が、日本経済学教育協会主催の「第25回EREミクロ・マクロ大学対抗戦」(平成28年7月3日実施)及び「第26回同対抗戦」(平成28年12月4日実施)において、それぞれ優勝、準優勝を果たした。

#### (3) 退学者の抑制

##### 【専修大学】

専修大学では、各学部の教職員等が成績不良学生に対し、個別面談・指導を実施するなどの手厚い支援を拡充させた。とりわけ法学部では、学生に対する学修支援やキャリア形成支援、進学支援を行うことを目的に、大学院生による相談・支援制度を導入して32名の利用者があった。

さらに、学生相談室では、退学を検討している学生や保護者に対してカウンセリングを行うことにより、学生本人が現状を把握し、つまづいている心理的課題に向き合い成長できるよう、支援強化を図った。

##### 【石巻専修大学】

石巻専修大学は、退学防止のための取組みを全学的に強化した。とりわけ、学生の履修状況や出席状況の早期確認を行うとともに、欠席しがちな学生や成績不振の学生に対して面接指導を実施した。それに加えて、5月から6月にかけて保証人宛てに手紙を送付し、保証人への協力依頼を行った。

また、入学予定者に対する入学前教育をはじめとして、入学後の「オリエンテーションセミナー」や「基礎ゼミナール」(学科により名称が異なる)、さらには学習支援室や学生相談室での取組みを推進した。

#### (4) カレッジスポーツの振興

##### 【専修大学】

専修大学は、カレッジスポーツの振興に向け、伊勢原総合グラウンドの野球場Ⅱ期工事(ブルペン)、伊勢原テニスコート改修工事、伊勢原体育寮厨房設備改修工事を実施した。



写真は伊勢原総合グラウンドの野球場改修工事で竣工したブルペンである。

##### 【石巻専修大学】

石巻専修大学は、強化指定サークル(硬式野球部、陸上競技部、女子競走部、弓道部、硬式テニス部、剣道部、カヌー部)を中心に施設面等の整備を含め、カレッジスポーツの強化を図った。

女子競走部は、2年連続で第34回全日本大学女子駅伝(杜の都駅伝)に出場を果たすとともに、初出場した前年の成績を上回る21位と健闘した。

#### (5) 学生生活及び健康サポートの強化

##### 【専修大学】

##### ① 食育の推進

専修大学は、食育の推進を通じて学生の健康状態の改善や学習などに対する意欲の向上のため、100円朝食を平成26年度後期から実施している。同朝食は、生田校舎1日100食限定、神田校舎1日50食限定(通常価格350円を100円で提供、差額は大学が補助)で、平成28年度の喫食率は生田校舎95%、神田校舎84%であった。

##### ② 薬物・アルコール被害に関する健康教育の実施と健康管理の充実

専修大学は、平成22年度から薬物・アルコール被害に関する健康教育を正課授業で実施している。平成28年度も必修科目である体育演習(スポーツリテラ

シー)の授業で専門家を講師に招聘し、危険薬物に関する健康教育として指導した。

また、専任教員からはアルコール・煙草に関する被害についての啓発を行った。

さらに、全学生対象の定期健康診断に内科診察を検査項目に追加し、学生の健康管理を充実させた。

### ③障がいのある学生の支援体制の構築

専修大学は、学生相談室、障がい学生支援推進委員会及び関係諸機関との連携を強化して、障がいのある学生への安心・安全な学修環境提供のための支援体制の整備を図った。

支援体制の整備として、学生相談室では、精神障がい(発達障がいを含む)を有する学生を支援するべく、継続的なカウンセリングの実施、グループ面談へのカウンセラーの同席、授業担当教員に対するコンサルテーション等を行うとともに、医療機関や外部支援機関とも適宜連携を図った。

また、障がい学生支援推進委員会では、「専修大学における障がい学生支援に関する基本方針の策定及び公表について」を取りまとめ、障がい学生支援に関する基本方針の整備を図った。

## 4 グローバル領域

### (1)学生の英語力向上

#### 【専修大学】

専修大学では、海外留学を促進するため、個々のニーズに合わせた効果的な留学準備プログラムや寮内留学プログラムを提供している。

留学支援講座(Language Skills Program(LSP))では、平成28年度は要望の高い初級者レベルの展開数増等の対応を行った。それに加えて、「大学生からはじめる英会話講座」、グローバル人材育成講座として開講している「英語で学ぶ日米ポップカルチャー講座」、「英語で学ぶ実践ライティング」、「最新ニュースで実践英会話」については、国際交流事務課専従のネイティブの英語インストラクターらが担当することにより、英語運用能力の向上を図った。

また、第4期・第5期「寮内留学プログラム」については、選考により、計26名の学生が同プログラムに参加し、国際交流会館において本学留学生との共同生活を送った。

### (2)留学者(派遣)数の増加

#### 【専修大学】

#### ①カルガリー大学との国際交流プログラム策定

専修大学は、平成27年度にカルガリー大学(カナダ)と大学間協定による国際交流協定を締結した。平成28年度は、同大学との長期交換留学プログラムを策定し、平成29年度に学生3名を派遣する予定である。

また、中期留学プログラムについても同大学で実施することとなり、留学費用が安価であることから、定員の倍を超える人数が応募した。そのため、本学としては、平成29年度の定員枠を増加できるよう交渉を進めていく。なお、日本語学科専門科目「日本語教育実習C」<sup>※1</sup>においては、平成29年2月3日～3月16日の期間に、学生3名と教員1名を同大学に派遣した。

※1 独立行政法人国際交流基金の「海外日本語教育インターン派遣プログラム」として助成を受けている。

※国際交流協定校については、37頁参照。

#### ②学生の海外派遣促進

専修大学は、グローバル時代に対応できる多様な価値観を養い、地球的視野から物事を考え、発想する力を養うため、短期・中期・長期、英語圏・英語以外の

外国語圏、語学・専門等の多種多様な留学プログラムを実施している。平成28年度は、中期留学プログラムの応募条件のうち、英語能力基準であるTOEFLスコアを見直した。結果、平成29年度に英語圏に留学することになる平成28年度のプログラム応募者が平成27年度に比べて、前期コースが229%増、後期コースが27%増となった。

### 【石巻専修大学】

石巻専修大学は、国際交流協定校の温州大学(中国)と、長期交換留学プログラムを通じた学生の相互交流を図っており、平成28年度は、同大学からは「秋期交換留学生」として2名の学生を受入れ、本学からは「交換留学生」として1名の学生を派遣した。

また、テラー・アンダーソン記念基金の支援に基づくランドルフ・メーコン大学との交流事業(2年間)については、同大学からは10名(学生4名、教職員6名)を受入れ、本学からは7名(学生5名、教職員2名)を派遣した。さらに同大学とは、図書館レベルでの交流も進展しており、同大学からは所属教員の著書(書籍、絵本等)やパンフレットが届けられ、一方、本学からは東日本大震災報告書等の震災関連の書籍のほか、ニュース専修や石巻圏の観光パンフレット等を送付した。

※国際交流協定校については、37頁参照。

### (3)東南アジア圏の交流強化

#### 【専修大学】

専修大学は、国民経済大学(ベトナム)との組織間協定を大学間協定に変更したことに伴い、学生間交流プログラムを開始し、同大学からは初となる2名の交換留学生を「日本理解プログラム」で受入れた。

また、国民経済大学のほか、ラオス国立大学等のアジア圏からは、例年通り特別聴講生として留学生を受入れ、継続的な交流を図った。とりわけ、ベトナムの国際交流協定校とは研究者交流が活発化してきており、今後は同国の教員との共同研究等の進展に繋げていけるよう、更なる交流強化を推進していく。

## 5 入試領域

### (1)志願者数向上への取組み

#### 【専修大学・石巻専修大学】

専修大学及び石巻専修大学は、入学試験出願時における受験生の負担軽減や利便性向上を図るために、平成29年度入学試験(大学入試センター試験利用入学試験・一般入学試験)の全ての出願受付を「WEB出願(インターネット出願<sup>※</sup>)」に移行した。

※石巻専修大学では、名称を「インターネット出願」としている。



#### 【専修大学】

#### ①志願者40,000人の継続的な確保に向けた取組み

専修大学は、志願者40,000人以上の継続的な確保に向けて、平成29年度入学試験から新たに5つの施策(「大学入試センター試験利用入学試験の併願割引」、「英語外部試験の利用」、「全学部統一入学試験の5会場新規追加」、「進学サポート奨学生の採用候補者増」、「出願の完全WEB化」)を導入した。さらに、地方入試会場を設置する地域及び広報強化地域において、高校訪問や進学相談会、またメディアを活用したPR活動を実施した。

これらの結果、平成29年度の大学入試センター試験利用入学試験及び一般入学試験の一部・二部の志願者数は、44,462名(前年度比21.7%増)となり、推薦・特別入学試験を加えた入学試験制度全体では、47,288名(前年度比22.1%増)となった。

※入学志願者数の推移については、7頁参照

## ②一般前期入学試験(全学部統一入学試験)における試験会場の新設

専修大学は、一般前期入学試験(全学部統一入学試験)において、仙台、郡山、新潟、長野、名古屋の5会場を新設し、5会場合計で903名の志願者を獲得した。

### 【石巻専修大学】

石巻専修大学では、新たな学生募集戦略を立案し、主に次の6点を情宣内容として、高校訪問、オープンキャンパス、各種説明会などの学生募集活動を展開した。

- (ア)平成29年度入学試験のトピックス
- (イ)進学サポート奨学生制度の導入
- (ウ)学科間ジョイント・プログラムの導入
- (エ)平成29年度の新カリキュラム
- (オ)入学検定料の改定(値下げ)
- (カ)インターネット出願システムの導入

## (2)高大接続改革への対応準備

### 【専修大学】

#### ①教育交流提携校推薦入試の実施

専修大学は、高大接続を促進するため、教育交流プログラムを実施し、かつ推薦入試(教育交流提携校推薦入試)によって入学者を選抜する「教育交流提携校」を設定した。その結果、平成28年度は埼玉県私立浦和学院高等学校と協定を締結するに至った。

また、平成29年3月17日には、神奈川県私立向上高等学校と協定を締結し、平成30年度に教育交流提携校推薦入試を実施予定である。

#### ②英語外部試験の活用

専修大学は、英語外部試験による資格取得とスコア向上に取り組む高校生に対して、多様な大学入学者選抜試験の受験機会を提供することや、社会ニーズへの対応などの観点から、平成29年度一般前期入学試験において、英語外部試験を利用した入試選考方式を導入した。なお、同制度の志願者数は、合計1,236名となり、一般前期入学試験志願者全体に占める割合は6.6%であった。

### 【石巻専修大学】

石巻専修大学は、学力の3要素を多面的・総合的に評価する入学者選抜を行うための「一般入学試験の選考方法」、入学後の学生の学業成績を踏まえた選抜方法の妥当性検証に基づく「特待生入学試験の試験科目及び選考方法」について、平成30年度入学試験からの実施に向けた検討を図った。

具体的には、以下のとおり。

#### (ア)入学試験方式の名称変更

一般入学試験A日程「大学入試センター試験併用入試」は、大学入試センター利用入学試験と名称が酷似していたため、「センタープラス入試」に改称する。

#### (イ)合否判定方法の変更

3学部は、志願者の学力の3要素(①基礎的・基本的な知識・技能、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③主体的に学習に取り組む態度)を多面的・総合的に評価するため、一般入学試験C日程の合否判定において、受験科目の合格点(2科目200点満点)のほか、調査書を活用する。

#### (ウ)経営学部の入学試験科目追加

経営学部は、多様な入学者を受入れるとともに、理工学部との併願を可能にするため、一般入学試験A日程3科目入試及びセンタープラス入試の試験科目に「理科」を追加する。

#### (エ)理工学部の入学試験科目変更

理工学部は、入学者が学修を進める上で必要となる基礎学力を担保する観点から、特待生入学試験の試験科目を「国語・英語」から「数学・英語」に変更する。

## (3)石巻圏域受験生の獲得強化

### 【石巻専修大学】

石巻専修大学は、石巻圏域高等学校からの受験生獲得の一環として、学業成績及び人物に優れ、かつ石巻専修大学への入学を強く希望している生徒を対象とした「石巻地域高等学校特別指定枠推薦入学試験」を実施している。

平成28年度は、前年度に入学志願者数が減少した県北エリア、とりわけ石巻圏域の回復に向け、石巻地域高等教育事業団及び石巻地区高等学校長協会との連携により、「三者連携協議会分科会」、「圏域高等学校との懇談会」、「石巻圏域高等学校向け大学見学会」を実施した。そのほかにも、高等学校訪問(3回以上)、出前授業(延べ3校)、校内説明会(4校)、体験授業・大学見学(4校)などを通じて、石巻専修大学の学びや特色を伝えた。その結果、平成29年度石巻地域高等学校特別指定枠推薦入学試験の志願者数は、前年度から61%増の29名になった。

## 6 社会連携領域

### (1)協定自治体等との連携強化

#### 【専修大学】

#### ①協定自治体との連携事業の推進

専修大学は、多摩区からの委託事業(大学・地域連携事業)として、「つながりの強い地域に資する区民向け情報プラットフォームの確立—マグネット多摩及び地域通貨『たま』で得た成果の発展—」をテーマとした地域連携事業を実施した。

また、川崎市職員と本学KSパートナーシップ運営委員会委員による連絡協議会を開催し、川崎市と本学が連携して行う各種事業の現状確認と意見交換を図った。

さらに、多摩区・3大学連携協議会では、地域・社会貢献の観点から、各種事業の実施や検討を進めた。千代田区との連携については、連携協力会議総会等に参加するとともに、平成29年度に補助を受ける千代田学への申請(1件)、千代田区インターンシップへの学生の参加(1名)、「大規模災害時における協力体制に関する基本協定」の締結に係わる各事業を推進した。

#### ②高大連携の推進

専修大学は、高大連携協定校との高大連携を次のとおり積極的に推進し、また平成29年2月4日には神奈川県立新城高等学校と協定を新たに締結した。これにより、平成29年度の高大連携協定校数は16校となる。

(ア)高大連携聴講生として、協定校から計3名の生徒を本学授業に受入れた。

(イ)教科研修生として、協定校に計11名の教職志望学生を派遣した。

(ウ)一日体験入学として、協定校10校の生徒を受入れた。

#### ③第11回専修大学カップの開催

専修大学は、地域(神奈川県)の子どもの健全育成支援を目的として、平成18年度から神奈川県野球連盟と本学の主催により、「専修大学カップ—神奈川県学童軟式野球選手権大会—」を開催している。

平成28年度は、「第11回専修大学カップ」(平成28年8月5日～11日 横浜スタジアムほか)を開催し、県内各地の代表54チームが熱戦を繰り広げ、「栗木ジャイアンツ」(川崎市麻生区代表)が初優勝を飾った。



④専修大学体育会スポーツ教室「ONE DAY TEAMMATE 2016」の開催

専修大学体育会は、地域貢献活動の一環としてスポーツ教室「ONE DAY TEAMMATE 2016」(川崎市教育委員会との連携事業)21教室を、平成28年6月4日～12月11日の期間で開催し、地域の小中高生など376名が参加した。



このほか、伊勢原市テニス協会との連携によるジュニアテニス教室実施、伊勢原市駅伝大会への協力及びラグビー教室、野球教室、ランニング教室の実施、専大カップ(水泳)への開催協力などを通じて、子どもの体力向上及び競技力向上や、国民のスポーツ参加を促進する取組みに対して支援・協力を行った。

⑤KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミーの開講

専修大学大学院経済学研究科は、平成20年度文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に選定され、5期に亘って展開した「KS(川崎・専修)コミュニティ・ビジネス・アカデミー」の実績を土台に、平成23年度から「KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミー」を開講している。同プログラムは、平成28年度をもって終了することが決定しており、最後の修了生となる6期生8名は、平成29年2月16日に履修証明書を授与された。このことにより、修了生は前身である「KS コミュニティ・ビジネス・アカデミー」と合わせて累計259名となった。



⑥クリーンタウン活動の実施

専修大学は、地域貢献活動の一環として、平成28年7月2日、神田・生田両キャンパスにおいて清掃活動を実施した。

神田キャンパスでは、「クリーンタウン 2016 in KANDA」(学生部主催、神田学生自治会、二部学生会、専修神田ボランティア共催)として学生及び地域住民など207名が、最寄り3駅(水道橋駅、神保町駅、九段下駅)から神田キャンパスまでの通学路の清掃に取り組んだ。



また、生田キャンパスでは、体育会の「ONE DAY TEAMMATE 2016」の一環として「クリーンタウン 2016」が行われ、多摩川の河川敷及び向ヶ丘遊園駅までの通学路等を体育会学生約180名が一般学生や地域住民などと共に清掃活動を行った。

さらに、伊勢原体育寮生(野球部・ラグビー部・馬術部・テニス部の学生)185名が、平成28年12月17日に伊勢原駅前から専修大学グラウンドまでの道路のゴミ拾いや草むしり、落ち葉の収集などの清掃活動に取り組んだ。

【石巻専修大学】

①石巻地域高等教育事業団・石巻地区高等学校長協会との連携事業の推進

石巻専修大学は、公益財団法人石巻地域高等教育事業団と石巻地区高等学校長協会との連携の下、分科会・懇談会の実施や協働事業としての「石巻圏域高校向けの大学見学会」(平成28年6月25日 参加者47名)、「教員向け研修」(平成28年6月25日・7月2日 参加者延べ12名)を実施した。

②保育・教育系の拠点施設・協力施設との交流

石巻専修大学は、保育・教育系の拠点施設・協力施設との交流事業として、「夏期休暇中における学習支援ボランティア」(参加者延べ29名)、「拠点施設、協

力施設の運動会等行事への支援」(参加者延べ26名)を実施した。

③高大接続研究事業協定校との連携

石巻専修大学は、相互に連携協力して魅力ある教育を実現するため、圏域高等学校等との高大接続研究事業の協定を締結している。平成28年度は、高大接続研究事業の協定に基づき、圏域の協定校との単位認定型授業を実施した。なお、実施結果の概要は下表のとおりである。

| 高校名            | 受講者数(人) |
|----------------|---------|
| 宮城県石巻商業高等学校    | 16      |
| 石巻市立桜坂高等学校     | 5       |
| 宮城県石巻北高等学校     | 33      |
| 宮城県石巻北高等学校飯野川校 | 13      |
| 宮城県東松島高等学校     | 11      |

④教員免許状更新講習の開設

石巻専修大学は、石巻圏域の連携事業等で強く要望のあった教員免許状更新講習(必修及び選択必修)を平成28年度初めて実施した。講習では、必修領域(参加者59名)を8月3日に、選択必修領域(参加者57名)を8月4日に行った。

⑤高大産連携プロジェクト開始

石巻専修大学は、地域を支えていく人材の育成と地域の活性化を目指した「高大産(高校・大学・産業)連携プロジェクト」を平成28年4月から開始した。



平成28年度に推進したプロジェクトは、「Code for Ishinomaki2016」、「石巻地域3者連携ものづくりプロジェクト」及び「高大産連携によるラジオ放送のプロジェクト」の3件となった。

⑥市民との交流、地域理解と貢献

石巻専修大学は、市民との交流や地域理解を深めながら、地域貢献にも資する各種の取組みを充実させることとしている。

平成28年度は、地域貢献日(平成28年7月31日・8月1日)において、学生及び教職員が石巻川開き祭りの5つのプログラム(孫兵衛船競漕、大綱引き大会、流燈ボランティア、大漁踊り、花火屑拾ボランティア)に延べ174名参加した。



また、大学祭(10月8・9日)では、大学祭実行委員会主催する企画のほか、初めて3学部による企画も実施され、約3,000名が来場した。

(2)公開講座等の充実

【専修大学】

①今村力三郎生誕150年記念展

専修大学は、専修大学創立140周年記念事業として、明治・大正・昭和にかけて、人権派弁護士として活躍した今村力三郎の生誕150年を記念する展示を神田キャンパス(平成28年6月11日～23日)及び生田キャンパス(平成28年11月9日～12月3日)で開催した。



また、平成28年6月18日に「『反骨』の弁護士・今村力三郎生誕150年記念講演会」を開催し、石村修法科大学院教授が「田中正造と今村力三郎-自由民権運動と関連して-」、長嶺超輝氏(作家)が「人の心を言葉で揺さぶるには?—今、『伝説の弁護士』に学ぶ—」と題した講演を行った(参加者84名)。

## ②目賀田種太郎展

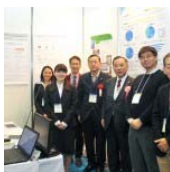
専修大学は、専修大学創立 140 周年記念事業として、「目賀田種太郎と近代日本～教育者・法律家・官僚として～」（専修大学・たばこと塩の博物館共同企画展）を平成 28 年 9 月 17 日～11 月 6 日に、たばこと塩の博物館で開催（入場者数 5,727 名）した。期間中は、ギャラリートーク、講演会、シンポジウムなど記念行事も多数実施した。



また、同会場内において、専修大学が所蔵する貴重な資料などを紹介する「専修大学図書館コレクション展」も同時開催し、日本文化の「雅」と「俗」をテーマに、和書を中心としたコレクションを展示した。

## ③川崎国際環境技術展 2017 への出展

専修大学情報科学研究所は、川崎国際環境技術展 2017（開催日：平成 29 年 2 月 16・17 日 開催地：川崎市）に参加し、植村・野口研究室が、高齢者・視覚障害者を対象としたアクセシビリティに関する研究を出展した。



また、平成 21 年度から 9 年連続参加の綿貫研究室は、「人力発電と太陽光発電のハイブリッド創エネ」を出展した。

さらに、仁木朋美さん（ネットワーク情報学部 3 年次生）は「地域農業活性化プロジェクト～『植物図鑑』を味わい尽くせる複合施設事業運営企画～」を出展した。

## ④公開講座、連携講座の充実

専修大学エクステンションセンターは、知的資源の開放に重きを置き、公開講座と地方自治体との連携講座の充実を図った。

佐渡市民大学講座（平成 28 年 6 月 11 日 受講者 63 名）では、「観光資源としての世界文化遺産」をテーマに宮寄晃臣経済学部教授が講演を行った。さらに、北上市民大学講座（平成 28 年 6 月 24 日 受講者 72 名）では、「江釣子古墳群の話」をテーマに土生田純之文学部教授が講演を行った。

一方、開講 15 年目を迎える公開講座「歴史を紐とく」では、「古代の祭祀と儀礼の諸相 - 古代への接近 -」と題し、講師は本学の文学部教員を中心に開講した（開催日 平成 28 年 10 月 8・15・29 日の 3 日間 参加者延べ 1,546 名）。

※公開講座情報については、34 頁参照

## ⑤社会知性フォーラムの開催

専修大学は、平成 28 年 10 月 1 日、熊本地震からの復興を応援するため平成 28 年に創立 50 周年を迎える専修大学玉名高等学校の地元である熊本県玉名市（玉名市民会館）にて「社会知性フォーラム」を開催した（参加者 568 名）。

このフォーラムは、「社会知性の開発」に基づく知の発信の場として、平成 22 年度から開催しており、7 回目となる今回は、無添加せっけんを製造するシャボン玉石けん株式会社（北九州市）代表取締役社長の森田隼人氏（経営学部卒）、熊木洋太文学部教授、徳永慎二氏（玉名市総務部防災安全課長）が講演した。



## 【石巻専修大学】

### ①大学開放講座等の開催

石巻専修大学は、社会貢献活動として大学の知を広く地域・社会に還元するため、平成 3 年度から「石巻専修大学開放講座」を実施している。平成 28 年度は、統一テーマ「あなたの大切なものは何ですか？」と題して、平成 28 年 6 月 2 日～7 月 14 日に全 7 回を実施

（参加者 58 名）した。

また、「ひらいてみよう！知の玉手箱」を石鳳祭（石巻専修大学大学祭）に合わせて平成 28 年 10 月 8 日に実施（参加者 280 名）した。

### ②出前授業の積極的な展開

石巻専修大学は、社会貢献活動として大学の知を広く地域・社会に還元するため、出前授業を積極的に実施している。同事業は、地域の教育関係機関や市民団体及び企業等のニーズに対して、石巻専修大学の教員が出向いて講義等を実施するものである。出前授業のテーマは、理工学部 23 テーマ、経営学部 11 テーマ、人間学部 10 テーマで、対象を「児童」・「高校生」・「大人」に分けている。平成 28 年度は 19 件の出前授業を実施した。

### ③ひらめき☆ときめきサイエンスの開催

石巻専修大学は、科研費によって得られた最先端の研究成果について、小中高生が直接体験することで科学の面白さを感じてもらおう目的で、「ひらめき☆ときめきサイエンス『花のかたちはどう決まる？遺伝子から迫る花のでき方』」を平成 28 年 8 月 10 日に開催した。



中川 繭理工学部助教がファシリテーターとなり、参加した高校生（13 名）は、色々な花の観察を通して花の多様性と共通性を理解した。また、モデル植物のシロイヌナズナ ABC 変異体の観察結果を基にグループディスカッションを行い、「遺伝子が花器官形成にどのような影響を与えているか」を考察し、発表した。

## (3) 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)の推進

### 【石巻専修大学】

石巻専修大学は、地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)の参加校であることから、既存の連携組織等を活用しながら実践的な学びを得る機会を創出して地域人材の育成の推進を図る。

平成 28 年度は、同事業の申請大学である東北学院大学の「地域の課題 I」等の単位互換についての検討を行った。

## 7 経営・財務領域

### (1) 経常支出の抑制

#### 【学校法人専修大学】

学校法人専修大学は、専修大学創立 140 年・石巻専修大学創立 30 年を迎える平成 31 年度までの間において、財政の健全化と施設設備の充実・整備事業の推進を両立させることを目指している。

平成 28 年度は、教育・研究の質的向上を図る施策に重点を置いた計画を実行に移すとともに、一方で旅費、光熱水費などの経常的経費の抑制策を厳格に進めたことにより、事業活動収支差額比率は、プラス 1.95%となった。

### (2) 外部資金確保の検討

#### 【学校法人専修大学】

##### ①補助金確保に向けた取組み

学校法人専修大学は、補助金収入の増加を図ることで、収入構造多元化の実現を目指している。そのため、本法人では、学内において補助金説明会を開催し、各事務所管に対して積極的に情報提供を行った。

また、私立大学等改革総合支援事業についても関係事務所管が協議し、得点向上につながる施策を検討した。

## ②寄付金の募集

学校法人専修大学は、平成 27 年 4 月から 5 年計画で「専修大学創立 140 年・石巻専修大学創立 30 年記念事業募金」及び「教育研究振興協力資金募金」の募集を展開しており、平成 28 年度は募金活動を次のとおり推進した(2 年目)。

### ◆募金目的

◎「専修大学創立 140 年・石巻専修大学創立 30 年記念事業募金」

- (ア) キャンパスの教育施設設備の整備拡充
- (イ) 教育研究の充実
- (ウ) 専修大学及び石巻専修大学学生の教育支援
- (エ) 奨学金制度の充実
- (オ) 国際化の推進
- (カ) 学生スポーツ活動の振興
- (キ) その他

◎「教育研究振興協力資金募金」

- (ア) 教育研究の充実
- (イ) その他

### ◆募金応募状況

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

| 専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年記念事業募金/教育研究振興協力資金募金 |       | 件数    | 金額(円)       |
|---|-------|-------|-------------|
| 専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年記念事業募金              | 法人・団体 | 97    | 96,361,072  |
|   | 個人    | 869   | 60,650,051  |
|   | 合計    | 966   | 157,011,123 |
| 教育研究振興協力資金募金                              | 法人・団体 | 26    | 4,958,926   |
|   | 個人    | 64    | 1,832,000   |
|   | 合計    | 90    | 6,790,926   |
| 総計  | 合計    | 1,056 | 163,802,049 |

※「平成28年熊本地震」被災学生支援金を含む

## ③稲村奨学基金の設立

学校法人専修大学は、稲村榮典氏(昭和 46 年商学部卒)より、専修大学の学生支援を目的として、多額の寄付をいただいたことに伴い、稲村奨学基金を設立し、平成 28 年度決算において第 3 号基本金に組み入れた。

## (3)事業の継続的発展に向けた取組み

### 【学校法人専修大学】

#### ①安否確認システム活用状況の向上

学校法人専修大学は、大規模地震などの自然災害や重篤な感染症の発生など、学生・教職員の生命または身体に重大な被害が生じる恐れがある危機的状況時に、学生・教職員へ緊急かつ重要な連絡を行うとともに安否を確認する手段として平成 27 年度に安否確認システム(石巻専修大学は、平成 28 年 4 月に導入)及び緊急地震速報を導入した。

平成 28 年度は、安否確認システムへの返信率の向上に向けて、防災訓練にあわせた運用訓練の実施、大学の公式ウェブページ及びポータルサイトへの掲載、履修ガイダンスをはじめとする各種ガイダンスでの周知、友会や支部懇談会での保護者への周知を図った。

なお、専修大学で実施した運用訓練での返信状況は以下のとおりである。

運用訓練における安否確認メール返信率(専修大学)

| 実施日         | 学生(%) | 専任教員(%) | 職員(%) |
|-------------|-------|---------|-------|
| 平成28年 7月 4日 | 9.9   | 54.6    | 85.7  |
| 平成28年11月18日 | 13.7  | 65.6    | 91.7  |
| 平成29年 3月11日 | 13.4  | 70.6    | 93.5  |

#### ②職員の能力開発の促進

学校法人専修大学は、多様化・複雑化する大学経営の課題に対応する職員を育成するため、専修大学にお

いて、「改革実行 3 か年研修」(平成 27 年度から平成 29 年度まで)の 2 年目研修として、「政策形成力向上研修」を行った。同研修は、大学改革実現に不可欠なビジョン達成に必要な政策形成力の向上に資する政策立案力、計画策定力、合意形成力を磨くことを目的に、管理職等 18 名を対象として、平成 28 年 5 月から 10 月までの間に計 11 回実施した。加えて、女性職員が管理職として活躍できる就労環境の整備を行うため、平成 28 年 8 月 5 日に、女性の監督職 30 名を対象として、女性職員活躍推進研修を実施した。

石巻専修大学では、組織的な改革を推進していく能力を高めるため、全職員を対象とした「能力開発研修」を 5 回にわたって実施した。研修内容は、石巻専修大学と競合する他大学との比較から、大学改革に向けた施策や問題解決を探るもので、これらの内容を実習やプレゼンテーションを通じて、自らが能力を開発していく手法を学んだ。加えて、外部機関による実践研修に中堅職員が参加し、次世代リーダーとしての考え方や組織運営などについて、演習形式を中心とした研修に取り組んだ。

## (4)中期計画策定の検討

### 【学校法人専修大学】

学校法人専修大学は、創立 150 年に向けて、大学基盤整備を進めるため、平成 28 年度では靖国通り新校地の開発計画(新校舎建設)の作成に取り組んだ。計画の期間は平成 28 年度からの 5 年間で、基本設計・実施設計を経て平成 29 年度に新校舎の建設工事着工。工事期間を 24 ヶ月と見積もり、平成 31 年度末に竣工、平成 32 年度からの運用開始としている。

## (5)ICTの効率的な活用

### 【学校法人専修大学】

#### ①規程集検索システム(Super Reiki-Base)の導入

学校法人専修大学は、平成 28 年 4 月に、新規規程集検索システムの運用を開始した。この運用開始に当たり、操作マニュアルは本法人が独自に作成し、専修大学及び石巻専修大学において全職員を対象とした操作研修会を実施した。さらに、希望する事務所管に対しては、個別の操作研修を実施した。同システムの導入により、毎月、システムへの規程の更新が可能となり、最新の規程が閲覧できるようになった。加えて、同システム画面内での新旧対照表の作成が可能となり、起案作業の効率化の一助となった。

#### ②新図書館システム本稼働

学校法人専修大学は、専修大学において、平成 28 年 4 月に新図書館システムを本稼働させた。同システムは、スマートフォン対応や教員推薦図書の一覧表示が新機能として追加されたほか、検索・表示スピードが向上し、利用者の利便性が向上した。

また、石巻専修大学においても平成 29 年 4 月より、同システムの利用を可能にすべく準備を進めた。



# IV 決算の概要

## 1 資金収支計算書

### [概要]

収入の部では、当年度収入合計が予算比 0.04%増の 249 億 7,434 万円（前年度比では 6.54%の減）となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では、予算比 0.04%増の 317 億 764 万円となっている（前年度比では 5.08%の減）。

支出の部では、当年度支出合計が予算比 2.34%減の 248 億 6,858 万円（前年度比では 6.76%の減）で、翌年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み 68 億 3,906 万円となっている（前年度比では 1.57%の増）。

資金収支計算書（概要） 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで （単位：千円）

| 収入の部        |             |             |           |
|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 科目          | 予算          | 決算          | 差異        |
| 学生生徒等納付金収入  | 20,692,213  | 20,707,945  | △ 15,732  |
| 手数料収入       | 930,909     | 1,052,417   | △ 121,508 |
| 寄付金収入       | 500,000     | 163,802     | 336,197   |
| 補助金収入       | 889,159     | 827,480     | 61,678    |
| 資産売却収入      | 200,000     | 28          | 199,971   |
| 付随事業・収益事業収入 | 648,937     | 646,517     | 2,419     |
| 受取利息・配当金収入  | 36,856      | 59,823      | △ 22,967  |
| 雑収入         | 942,293     | 983,386     | △ 41,093  |
| 借入金等収入      | 900,000     | 900,000     | 0         |
| 前受金収入       | 3,857,210   | 4,234,822   | △ 377,612 |
| その他の収入      | 561,827     | 636,323     | △ 74,496  |
| 資金収入調整勘定    | △ 5,196,242 | △ 5,238,197 | 41,955    |
| 当年度収入合計     | 24,963,162  | 24,974,349  | △ 11,187  |
| 前年度繰越支払資金   | 6,733,298   | 6,733,298   |           |
| 収入の部合計      | 31,696,460  | 31,707,648  | △ 11,187  |

- 3月末日在籍者数は20,029人
- 入学検定料収入や証明手数料収入など
- 専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年記念事業募金
- 国庫補助金収入(経常費補助金など)、地方公共団体補助金収入、学術研究振興資金収入
- 寮・セミナーハウスの利用料等を含む
- 銀行からの長期借入金
- 平成29年度入学生の入学手続き時の納入学費
- 本年度末における未収入金や前年度(平成27年度)の前受金

| 支出の部      |             |             |           |
|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 科目        | 予算          | 決算          | 差異        |
| 人件費支出     | 14,934,907  | 14,927,703  | 7,203     |
| 教育研究経費支出  | 5,194,849   | 5,046,855   | 147,993   |
| 管理経費支出    | 1,541,179   | 1,574,979   | △ 33,800  |
| 借入金等利息支出  | 0           | 0           | 0         |
| 借入金等返済支出  | 61,130      | 61,130      | 0         |
| 施設関係支出    | 2,719,240   | 2,614,925   | 104,314   |
| 設備関係支出    | 429,187     | 469,312     | △ 40,125  |
| 資産運用支出    | 660,080     | 460,016     | 200,063   |
| その他の支出    | 1,302,513   | 1,274,953   | 27,559    |
| [予備費]     | (0)         |             | 150,000   |
| 資金支出調整勘定  | △ 1,529,780 | △ 1,561,295 | 31,515    |
| 当年度支出合計   | 25,463,305  | 24,868,580  | 594,724   |
| 翌年度繰越支払資金 | 6,233,155   | 6,839,067   | △ 605,911 |
| 支出の部合計    | 31,696,460  | 31,707,648  | △ 11,187  |

- 教育・研究の活動に要する経費 学費減免等の奨学金を含む
- 法人業務・学生募集等に要する経費
- 借入金の残高は49億3,887万円
- 本年度末における未払金や前年度(平成27年度)の前払金

※千円単位で表記するにあたり、千円未満を切り捨てているため、合計等において差異が生じる場合がある。

### [内容]

#### (1) 収入の部

- ① 学生生徒等納付金収入は、予算比 0.08%増の 207 億 794 万円（前年度比では 3.04%の増）。最終在籍者数が専修大学で 18,914 人、石巻専修大学で 1,115 人となり、全体では 20,029 人。最終在籍者数は、前年度と比べ、全体で 101 人の増となっている。
- ② 手数料収入は、予算比 13.05%増の 10 億 5,241 万円（前年度比では 5.45%の増）。このうち、入学検定料収入は、予算比 13.60%増の 10 億 1,614 万円（前年度比では 5.76%の増）。入学志願者数が予算と比べ専修大学で 5,960 人の増、石巻専修大学で 36 人の増となっている。
- ③ 寄付金収入は、予算比 67.24%減の 1 億 6,380 万円（前年度比では 38.10%の減）。専修大学創立 140 年・石巻専修大学創立 30 年記念事業募金の募集を行っている。

- ④ 補助金収入は、予算比 6.94%減の 8 億 2,748 万円（前年度比では 49.42%の減）。このうち、国庫補助金収入は、予算比 7.07%減の 8 億 1,437 万円（前年度比では 49.82%の減）。内訳は、経常費補助金が 7 億 9,357 万円（前年度比では 47.45%の減）、教育研究装置補助金が 1,287 万円、大学改革推進等補助金が 25 万円、省エネ・生産性革命投資推進事業補助金が 191 万円となっている。
- ⑤ 資産売却収入は、予算比 99.99%減の 2 万円（前年度比では 99.76%の減）。このうち、設備売却収入は、車両の売却で 2 万円。
- ⑥ 付随事業・収益事業収入は、予算比 0.37%減の 6 億 4,651 万円（前年度比では 0.91%の増）。差異は、箱根セミナーハウス他利用者及び SPI 試験対策講座受講者の減、石巻専修大学ユニバーシティハウス費等の減による。



- ⑦ 受取利息・配当金収入は、予算比 62.32%増の 5,982 万円(前年度比では 43.58%の減)。このうち、その他の受取利息・配当金収入は、予算比 65.53%増の 5,964 万円(前年度比では 39.69%の減)。
- ⑧ 雑収入は、予算比 4.36%増の 9 億 8,338 万円(前年度比では 31.05%の増)。差異は、大学施設等の貸出、退職金財団交付金、科学研究費補助金の間接経費等の増。
- ⑨ 借入金等収入は、予算どおりで 9 億円。生田 2・3 号館の建築資金としての長期借入金。
- ⑩ 前受金収入は、平成 29 年度入学者の入学手続時における納入学費(翌年度の学生生徒等納付金収入となる。)で、42 億 3,482 万円。
- ⑪ その他の収入は、前期末未収入金収入、貸付金回収収入、預り金受入収入、敷金・保証金回収収入で 6 億 3,632 万円。また、資金収入調整勘定(収入の振替控除科目)は、期末未収入金及び前期末前受金で 52 億 3,819 万円となっている。
- (2)支出の部
- ① 人件費支出は、予算比 0.05%減の 149 億 2,770 万円(前年度比では 2.44%の増)。臨時雇員等の採用減、産休者等増による本給、諸手当等の減及び退職金の増等を含んでいる。
- ② 教育研究経費支出は、予算比 2.85%減の 50 億 4,685 万円(前年度比では 4.56%の減)。予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。
- ・消耗品費支出:3 億 9,586 万円(4,581 万円の減)  
教員個人研究費、受託研究費、各種課外講座教材費、証明書自動発行機用トナー、教育用ソフトウェア、CALL 教室自習用教材、生田 2・3 号館設備品科目振替、石巻専修大学学生実験用消耗品購入額等の減
  - ・光熱水費支出:5 億 7,713 万円(5,163 万円の減)  
電気料金、ガス料金、重油使用量、水道料金の減
  - ・旅費交通費支出:2 億 3,226 万円(1,103 万円の減)  
出張旅費、在外研究旅費、石巻専修大学教員個人研究費旅費等の減
  - ・研究図書費支出:5,994 万円(1,104 万円の減)  
教員個人研究費、研究助成費等の減
  - ・奨学費支出:5 億 318 万円(1,067 万円の減)  
家計急変奨学金、育友会奨学金等の減
  - ・修繕費支出:1 億 7,454 万円(2,262 万円の増)  
神田校舎誘導灯バッテリー交換、神田 8 号館法科大学院自習室空調機修理、生田 1 号館教室高窓ガラス修理、生田 2・3 号館新築に伴う関連工事、生田 5 号館研究室空調機修理、生田図書館特別書庫空調機・蒸気加湿器修理、生命科学実験室空調機他修理、生理学実験室乳酸測定装置修理、生田総合体育館ボイラー圧縮調節器修理、伊勢原体育施設雨天体育場照明器具修理、石巻専修大学 1 号館実験室空調機及び給湯器修理、4 号館教室黒板及び空調機修理等の増
  - ・委託費支出:13 億 9,865 万円(2,061 万円の減)  
公務員試験講座等各種課外講座委託費、図書整理業務委託費、教育事務所管人材派遣業務委託費、石巻専修大学受託研究費、教員個人研究費、新入生基礎学力判断テスト委託費、学生自宅通学サポートバス運行委託費等の減
- ・謝礼費支出:1 億 586 万円(1,609 万円の減)  
各種講座講師謝礼費、授業科目外部講師謝礼費、教育実習謝礼費等の減
- ③ 管理経費支出は、予算比 2.19%増の 15 億 7,497 万円(前年度比では 2.28%の減)。  
予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。
- ・光熱水費支出:9,421 万円(1,136 万円の減)  
電気料金、ガス料金、重油使用量、水道料金の減
  - ・修繕費支出:3,684 万円(1,015 万円の増)  
生田 2・3 号館新築に伴う関連工事、生田食堂棟男子トイレ修理、生田学生食堂製氷機・給湯器・冷蔵庫修理等の増
  - ・委託費支出:5 億 907 万円(3,743 万円の増)  
生田 2・3 号館新築に伴う関連費用、入学ガイド等発送委託費、入試志願処理外部委託費、Web 出願処理外部委託費、ホームカミングデー設営他委託費、石巻専修大学インターネット出願システム導入等の増
  - ・公租公課支出:7,090 万円(2,228 万円の増)  
消費税等確定申告額等の増
  - ・広告費支出:3 億 1,742 万円(1,193 万円の減)  
広告予定紙廃刊、広告契約終了、計画の見直し等による減
- ④ 借入金等利息支出は、計上額なし。
- ⑤ 借入金等返済支出は、予算どおりの返済で 6,113 万円。
- ⑥ 施設関係支出は、予算比 3.84%減の 26 億 1,492 万円(前年度比では 22.30%の減)。  
※⑥の主な内容については、後記の〔主な施設等整備事項〕に記載。
- ⑦ 設備関係支出は、予算比 9.35%増の 4 億 6,931 万円(前年度比では 12.23%の減)。  
このうち、教育研究用機器備品支出は、予算比 23.92%増の 2 億 6,335 万円で、差異は、生田 2・3 号館設備品費、受託研究費、研究助成費、科学研究費間接経費等設備品購入の増。
- ⑧ 資産運用支出は、予算比 30.31%減の 4 億 6,001 万円(前年度比では 43.00%の減)。  
第 2 号基本金引当特定資産繰入支出が 2 億円、第 3 号基本金引当特定資産繰入支出が 1,001 万円、退職給与引当資産繰入支出が 5,000 万円、施設設備準備資産繰入支出が 2 億円となっている。
- ⑨ その他の支出は、前期末未払金支払支出、前払金支払支出等で 12 億 7,495 万円。予備費の使用額はない。また、資金支出調整勘定(支出の振替控除科目)は、期末未払金及び前期末前払金で 15 億 6,129 万円。

〔主な施設等整備事項〕

専修大学

- ① 神田 2 号館教室赤外線マイク更新に伴う通信配線工事
- ② 神田 3 号館 1 階守衛所電源設置工事及び地下 3 階体育室照明更新工事
- ③ 神田 6 号館入学センターインフォメーション及び神田 7 号館教室天井等落下防止対策工事
- ④ 神田校舎無線 LAN 更新に伴うネットワーク配線工事
- ⑤ 神田新校舎(仮称)新築に伴う土壌汚染検体調査
- ⑥ 生田 1 号館教室棟トイレ改修工事
- ⑦ 生田 2・3 号館新築工事
- ⑧ 生田 7 号館教室視聴覚設備更新に伴う電気設備工事
- ⑨ 生田 9 号館 CVCF 室無停電電源設備更新工事

- ⑩ 生田校舎無線 LAN システム更新に伴うネットワーク配線工事
- ⑪ 生田校舎及び周辺防犯カメラ設備設置に伴う通信配線工事
- ⑫ 生田総合体育館照明器具改修及び中央監視設備更新工事
- ⑬ 生田第 1 体育寮給水メーター共同化及び東側連絡階段改修工事
- ⑭ 生田第 1 学生自治会館部室空調機設置工事
- ⑮ 伊勢原総合グラウンド野球場改修工事
- ⑯ 伊勢原体育寮トイレ温水洗浄便座設置及び食堂厨房電気・給排水設備工事
- ⑰ 御宿セミナーハウス宿泊棟空調機更新工事
- ⑱ 専修大学北海道短期大学記念碑設置工事

## 2 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：千円)

|                |     | 科 目                          | 金 額         |
|----------------|-----|------------------------------|-------------|
| 教育活動による資金収支    | 収 入 | 学生生徒等納付金収入                   | 20,707,945  |
|                |     | 手数料収入                        | 1,052,417   |
|                |     | 特別寄付金収入                      | 151,607     |
|                |     | 経常費等補助金収入                    | 806,934     |
|                |     | 付随事業収入                       | 646,517     |
|                |     | 雑収入                          | 983,386     |
|                |     | 教育活動資金収入計                    | 24,348,808  |
|                | 支 出 | 人件費支出                        | 14,927,703  |
|                |     | 教育研究経費支出                     | 5,046,855   |
|                |     | 管理経費支出                       | 1,574,979   |
| 教育活動資金支出計      |     | 21,549,538                   |             |
|                |     | 差引                           | 2,799,270   |
|                |     | 調整勘定等                        | 91,162      |
|                |     | 教育活動資金収支差額                   | 2,890,432   |
| 施設整備等活動による資金収支 | 科 目 |                              | 金 額         |
|                | 収 入 | 施設設備寄付金収入                    | 12,194      |
|                |     | 施設設備補助金収入                    | 20,546      |
|                |     | 施設設備売却収入                     | 27          |
|                |     | 施設整備等活動資金収入計                 | 32,768      |
|                | 支 出 | 施設関係支出                       | 2,614,925   |
|                |     | 設備関係支出                       | 469,312     |
|                |     | 第2号基本金引当特定資産繰入支出             | 200,000     |
|                |     | 施設設備準備資産繰入支出                 | 200,000     |
|                |     | 施設整備等活動資金支出計                 | 3,484,237   |
|                |     | 差引                           | △ 3,451,469 |
|                |     | 調整勘定等                        | △ 248,509   |
|                |     | 施設整備等活動資金収支差額                | △ 3,699,978 |
|                |     | 小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) | △ 809,546   |

(単位：千円)

| 科 目                       |                  | 金 額       |
|---------------------------|------------------|-----------|
| その他の活動による資金収支             | 借入金等収入           | 900,000   |
|                           | 有価証券売却収入         | 0         |
|                           | 貸付金回収収入          | 6,149     |
|                           | 預り金受入収入          | 74,442    |
|                           | 敷金・保証金回収収入       | 50        |
|                           | 小計               | 980,642   |
|                           | 受取利息・配当金収入       | 59,823    |
|                           | その他の活動資金収入計      | 1,040,466 |
|                           | 借入金等返済支出         | 61,130    |
|                           | 第3号基本金引当特定資産繰入支出 | 10,016    |
|                           | 退職給与引当資産繰入支出     | 50,000    |
|                           | 貸付金支払支出          | 3,200     |
|                           | 仮払金支払支出          | 580       |
|                           | 敷金・保証金支払支出       | 224       |
|                           | 小計               | 125,150   |
| その他の活動資金支出計               | 125,150          |           |
| 差引                        | 915,315          |           |
| 調整勘定等                     | 0                |           |
| その他の活動資金収支差額              | 915,315          |           |
| 支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額） | 105,768          |           |
| 前年度繰越支払資金                 | 6,733,298        |           |
| 翌年度繰越支払資金                 | 6,839,067        |           |

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位：千円)

| 項 目                 | 資金収支<br>計算書計上額 | 教育活動<br>による資金収支 | 施設整備等活動<br>による資金収支 | その他の活動<br>による資金収支 |
|---------------------|----------------|-----------------|--------------------|-------------------|
| 前 受 金 収 入           | 4,234,822      | 4,234,822       | 0                  | —                 |
| 前 期 末 未 収 入 金 収 入   | 555,681        | 469,564         | 86,117             | —                 |
| 期 末 未 収 入 金         | △ 819,218      | △ 800,587       | △ 18,631           | —                 |
| 前 期 末 前 受 金         | △ 4,418,979    | △ 4,418,979     | 0                  | —                 |
| 収 入 計               | △ 447,694      | △ 515,180       | 67,486             | —                 |
| 前 期 末 未 払 金 支 払 支 出 | 1,197,404      | 850,664         | 346,740            | —                 |
| 前 払 金 支 払 支 出       | 73,544         | 73,544          | 0                  | —                 |
| 期 末 未 払 金           | △ 1,410,520    | △ 1,379,775     | △ 30,744           | —                 |
| 前 期 末 前 払 金         | △ 150,775      | △ 150,775       | 0                  | —                 |
| 支 出 計               | △ 290,346      | △ 606,342       | 315,995            | —                 |
| 収 入 計 一 支 出 計       | △ 157,347      | 91,162          | △ 248,509          | —                 |

※千円単位で表記するにあたり、千円未満を切り捨てているため、合計等において差異が生じる場合

教育活動資金収支差額は28億9,000万円、施設整備等活動資金収支差額は△37億円であり、教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額は△8億1,000万円となった。

その他の活動資金収支差額は9億2,000万円となり、翌年度繰越支払資金は前年度繰越支払資金から1億1,000万円増加した。

### 3 事業活動収支計算書

#### 〔概要〕

事業活動収支計算書では、事業活動収入計(学校法人の負債としない収入)が予算比 0.71%減の 246 億 1,414 万円〔前年度比では 0.19%(4,686 万円)の減〕。事業活動支出計は、予算比 0.50%減の 241 億 3,420 万円〔前年度比では 7.13%(18 億 5,198 万円)の減〕となり、基本金組入前当年度収支差額は、4 億 7,994 万円となっている。基本金組入額合計は、予算比 43.05%減の△16 億 4,283 万円となり、基本金組入前当年度収支差額と基本金組入額合計を合わせた当年度収支差額は、予算に比べ支出超過の額が 50.52%減の△11 億 6,288 万円となっている。また、前年度繰越収支差額(△335 億 4,256 万円)を加えた翌年度繰越収支差額は、予算に比べ支出超過の額が 3.31%減の 347 億 545 万円〔前年度比では 3.47%(11 億 6,288 万円)の増〕となっている。

事業活動収支計算書(概要) 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで (単位:千円)

| 科 目           |              | 予 算          | 決 算        | 差 異       |   |  |
|---------------|--------------|--------------|------------|-----------|---|--|
| 教育活動収入の部      | 学生生徒等納付金     | 20,692,213   | 20,707,945 | △         | 15,732                                  |  |
|               | 手数料          | 930,909      | 1,052,417  | △         | 121,508                                 | 施設設備寄付金以外の寄付金                          |
|               | 寄付金          | 200,000      | 151,607    | ●         | 48,392                                  |  |
|               | 経常費等補助金      | 867,182      | 806,934    | ●         | 60,247                                  | 施設設備補助金以外の補助金                          |
|               | 付随事業収入       | 648,937      | 646,517    |           | 2,419                                   |  |
|               | 雑収入          | 942,293      | 983,386    | △         | 41,093                                  |  |
|               | 教育活動収入計      | 24,281,534   | 24,348,808 | △         | 67,274                                  |  |
|               | 人件費          | 14,870,860   | 14,851,460 |           | 19,399                                  | 資金収支計算書の同科目のうち、退職金支出に代わり退職給与引当金繰入額が加わる |
|               | 教育研究経費       | 7,453,525    | 7,315,574  |           | 137,950                                 |  |
|               | 管理経費         | 1,762,307    | 1,796,890  | △         | 34,583                                  | 資金収支計算書の同科目に教育・研究用施設・設備の当期減価償却額が加わる    |
| 徴収不能額等        | 0            | 0            |            | 0         |   |  |
| 教育活動支出計       | 24,086,692   | 23,963,925   |            | 122,766   |   |  |
| 教育活動収支差額      | 194,842      | 384,883      | △          | 190,041   | 資金収支計算書の同科目に教育・研究用をのぞく施設・設備の当期減価償却額が加わる |  |
| 教育活動外収入の部     | 受取利息・配当金     | 36,856       | 59,823     | △         | 22,967                                  |  |
|               | その他の教育活動外収入  | 0            | 0          |           | 0                                       |  |
|               | 教育活動外収入計     | 36,856       | 59,823     | △         | 22,967                                  |  |
|               | 借入金等利息       | 0            | 0          |           | 0                                       |  |
|               | その他の教育活動外支出  | 0            | 0          |           | 0                                       |  |
| 教育活動外支出計      | 0            | 0            |            | 0         |   |  |
| 教育活動外収支差額     | 36,856       | 59,823       | △          | 22,967    | 資産の売却額が当該資産の帳簿残高を超える額                   |  |
| 経常収支差額        | 231,698      | 444,707      | △          | 213,009   |   |  |
| 特別収入の部        | 資産売却差額       | 0            | 0          |           | 0                                       |  |
|               | その他の特別収入     | 472,077      | 205,515    | ●         | 266,561                                 | 施設設備拡充のための寄付金(受贈等含む)及び補助金              |
|               | 特別収入計        | 472,077      | 205,515    | ●         | 266,561                                 |  |
|               | 資産処分差額       | 19,481       | 170,276    | △         | 150,795                                 | 資産売却や処分等で、当該資産の除却損等の額                  |
|               | その他の特別支出     | 0            | 0          |           | 0                                       |  |
| 特別支出計         | 19,481       | 170,276      | △          | 150,795   |   |  |
| 特別収支差額        | 452,596      | 35,238       | ●          | 417,357   |   |  |
| [予備費]         | (0)          |              |            | 150,000   |   |  |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 534,294      | 479,945      | ●          | 54,348    | 毎年度の収支バランスを表示                           |  |
| 基本金組入額合計      | △ 2,884,655  | △ 1,642,834  | △          | 1,241,820 |   |  |
| 当年度収支差額       | △ 2,350,361  | △ 1,162,888  | △          | 1,187,472 |   |  |
| 前年度繰越収支差額     | △ 33,542,564 | △ 33,542,563 |            | 0         |   |  |
| 基本金取崩額        | 0            | 0            |            | 0         |   |  |
| 翌年度繰越収支差額     | △ 35,892,925 | △ 34,705,452 | △          | 1,187,472 |   |  |
| (参考)          |              |              |            |           |   |  |
| 事業活動収入計       | 24,790,467   | 24,614,147   |            | 176,319   |   |  |
| 事業活動支出計       | 24,256,173   | 24,134,202   |            | 121,970   |   |  |

※千円単位で表記するにあたり、千円未満を切り捨てているため、合計等において差異が生じる場合がある。

#### 基本金組入額合計の内訳

- 第1号基本金 14 億 3,281 万円の組入 (当年度取得資産および借入金返済等の組入額)
- 第2号基本金 2 億円の組入 (将来取得する固定資産の取得に充てる預金等の資産の組入額)
- 第3号基本金 1,001 万円の組入 (校友会研究奨励基金等の組入額)
- 第4号基本金 当年度組入額なし (恒常的に保持すべき資金として定められた額の組入額)

#### 〔内容〕

※事業活動区分ごとに、前述の資金収支計算書と共通の科目を除く事業活動収支計算書特有のものについて説明。

#### (1) 経常収支

##### ① 教育活動収支

教育活動収入計は、予算比 0.28%増の 243 億 4,880 万円(前年度比では 0.89%の増)。教育活動支出計は、予算比 0.51%減の 239 億 6,392 万円(前年度比では 0.19%の減)となり、教育活動収支差額は、3 億 8,488

万円(前年度比では 208.99%の増)となっている。

#### (事業活動収入の部)

- ・寄付金は、施設設備寄付金を除いたもので、予算比 24.20%減の 1 億 5,160 万円(前年度比では 56.42%の増)。周年記念事業に伴う特別寄付金。
- ・経常費等補助金は、施設設備補助金を除いたもので、予算比 6.95%減の 8 億 693 万円(前年度比では 47.94%の減)。このうち国庫補助金は、経常費補助金が予算比 7.08%減の 7 億 9,357 万円。

(事業活動支出の部)

- ・人件費は、予算比 0.13%減の 148 億 5,146 万円 (前年度比では 1.38%の増)。退職給与引当金繰入額 12 億 1,044 万円を含んでいる。
- ・教育研究経費は、予算比 1.85%減の 73 億 1,557 万円 (前年度比では 2.86%の減)。減価償却額 22 億 6,871 万円を含んでいる。
- ・管理経費は、予算比 1.96%増の 17 億 9,689 万円 (前年度比では 1.75%の減)。減価償却額 2 億 2,191 万円を含んでいる。

② 教育活動外収支

教育活動外収入計は、予算比 62.32%増の 5,982 万円 (前年度比では 43.58%の減)。教育活動外支出計は、計上額がなく、教育活動外収支差額は、5,982 万円 (前年度比では 42.97%の減) となっている。

③ 経常収支差額

教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合わせた経常収支差額は、4 億 4,470 万円 (前年度比では 93.80%の増) となっている。

(2) 特別収支

特別収入計は、予算比 56.47%減の 2 億 551 万円 (前年度比では 51.26%の減)。特別支出計は、予算比 774.07%増の 1 億 7,027 万円 (前年度比では 91.38%の減) となり、特別収支差額は、3,523 万円 (前年度比 102.27%の増) となっている。

(事業活動収入の部)

- ・資産売却差額は、計上額なし。
- ・その他の特別収入の科目別の内訳は、以下のとおり。

|           |              |
|-----------|--------------|
| 施設設備寄付金   | 1,219 万円     |
| 受贈および編入図書 | 1 億 4,700 万円 |
| その他の受贈資産  | 2,576 万円     |
| 施設設備補助金   | 2,054 万円     |

(事業活動支出の部)

- ・資産処分差額は、施設処分差額が予算比 991.81%増の 1 億 3,888 万円。設備処分差額が予算比 364.32%増の 3,138 万円となっている。資産処分差額の内容は以下のとおり。

施設処分差額

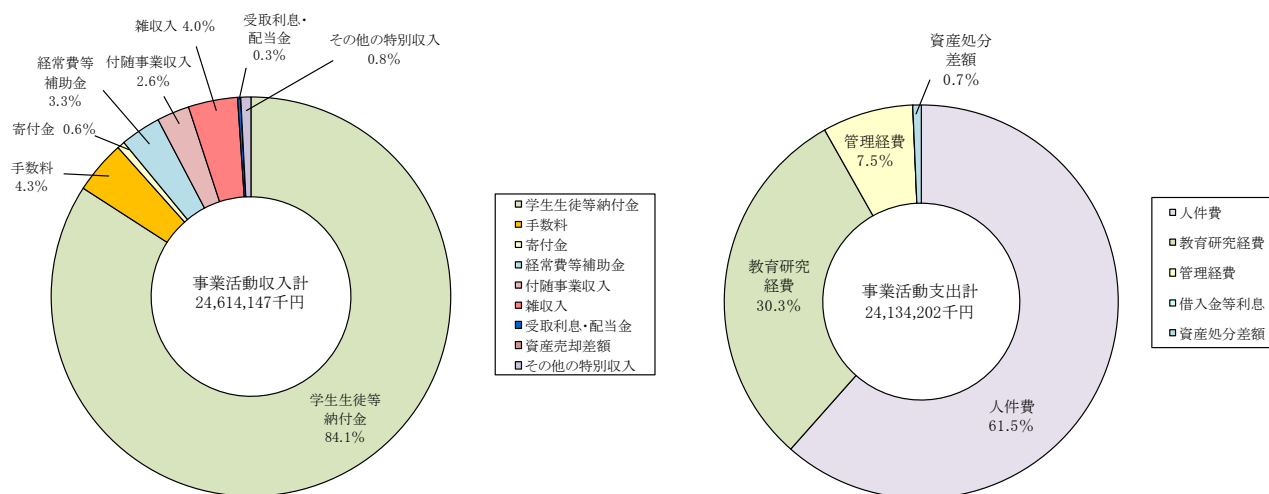
|       |              |                  |
|-------|--------------|------------------|
| 建 物   | 1 億 3,636 万円 | (建物及び建物付属設備処分差額) |
| 構 築 物 | 252 万円       | (体育施設等構築物処分差額)   |

設備処分差額

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 教育研究用機器備品 | 1,880 万円 (386 点) |
| 管理用機器備品   | 344 万円 (41 点)    |
| 車 両       | 93 万円 (3 台)      |
| 電 話 加 入 権 | 61 万円            |
| 図 書       | 759 万円 (450 冊)   |

(表1)

平成28年度 事業活動収支決算科目別構成



(表2)

主要財務比率

| 比率       | 算式 ( × 100 )                                    | 平成24年度<br>(決算)      | 平成25年度<br>(決算)      | 平成26年度<br>(決算)      |
|----------|---|---------------------|---------------------|---------------------|
| 人件費比率    | $\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$                | 58.51 %<br>(52.8 %) | 59.58 %<br>(52.4 %) | 60.67 %<br>(50.9 %) |
| 人件費依存率   | $\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$            | 73.44 %<br>(71.9 %) | 74.61 %<br>(72.4 %) | 72.98 %<br>(73.3 %) |
| 教育研究経費比率 | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$             | 34.24 %<br>(31.2 %) | 31.13 %<br>(31.5 %) | 33.12 %<br>(31.2 %) |
| 管理経費比率   | $\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$               | 7.98 %<br>(9.2 %)   | 7.73 %<br>(8.8 %)   | 8.08 %<br>(9.0 %)   |
| 帰属収支差額比率 | $\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$ | △1.62 %<br>(4.8 %)  | 0.59 %<br>(5.2 %)   | △3.34 %<br>(7.2 %)  |

備考： ( ) 内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。

学校法人会計基準改正に伴う新たな財務比率

| 比率         | 算式 ( × 100 )                                 | 平成27年度<br>(決算)      | 平成28年度<br>(決算) |
|------------|--|---------------------|----------------|
| 人件費比率      | $\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$             | 60.43 %<br>(53.7 %) | 60.85 %        |
| 人件費依存率     | $\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$         | 72.89 %<br>(73.0 %) | 71.72 %        |
| 教育研究経費比率   | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$          | 31.07 %<br>(33.2 %) | 29.97 %        |
| 管理経費比率     | $\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$            | 7.55 %<br>(9.3 %)   | 7.36 %         |
| 事業活動収支差額比率 | $\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$ | △5.37 %<br>(4.7 %)  | 1.95 %         |

備考：経常収入は、教育活動収入計と教育活動外収入計の合計

備考： ( ) 内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。

## 4 貸借対照表

貸借対照表は、平成29年3月31日現在の資産、負債、基本金等の状況を前年度末と対比させて表示している。

貸借対照表 平成29年3月31日

(単位：千円)

| 資 産 の 部      |             |             |             |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 科 目          | 本 年 度 末     | 前 年 度 末     | 増 減         |
| 固 定 資 産      | 128,613,207 | 127,558,846 | 1,054,361   |
| 有 形 固 定 資 産  | 96,333,564  | 95,736,874  | 596,689     |
| 土 地          | 35,525,858  | 35,525,858  | 0           |
| 建 物          | 39,606,164  | 36,107,210  | 3,498,953   |
| 構 築 物        | 2,474,711   | 2,186,506   | 288,204     |
| 機 械 装 置      | 34,924      | 42,114      | △ 7,189     |
| 教育研究用機器備品    | 1,902,957   | 2,204,466   | △ 301,509   |
| 管理用機器備品      | 218,684     | 234,546     | △ 15,862    |
| 図 書          | 16,529,992  | 16,205,883  | 324,108     |
| 車 両          | 30,042      | 27,510      | 2,532       |
| 建設仮勘定        | 10,227      | 3,202,776   | △ 3,192,549 |
| 特 定 資 産      | 31,534,231  | 31,074,214  | 460,016     |
| 第2号基本金引当特定資産 | 400,000     | 200,000     | 200,000     |
| 第3号基本金引当特定資産 | 2,734,231   | 2,724,214   | 10,016      |
| 退職給与引当資産     | 3,800,000   | 3,750,000   | 50,000      |
| 法人基金準備資産     | 6,900,000   | 6,900,000   | 0           |
| 施設設備準備資産     | 17,700,000  | 17,500,000  | 200,000     |
| その他の固定資産     | 745,412     | 747,757     | △ 2,344     |
| 電 話 加 入 権    | 17,322      | 17,933      | △ 611       |
| 温 泉 利 用 権    | 7,000       | 7,000       | 0           |
| 有 価 証 券      | 713,888     | 713,888     | 0           |
| 教 職 員 貸 付 金  | 5,352       | 7,260       | △ 1,907     |
| 敷 金 ・ 保 証 金  | 1,849       | 1,675       | 174         |
| 流 動 資 産      | 7,906,479   | 7,614,865   | 291,613     |
| 現 金 預 金      | 6,839,067   | 6,733,298   | 105,768     |
| 未 収 入 金      | 819,218     | 555,681     | 263,537     |
| 仮 払 金        | 165,174     | 164,593     | 580         |
| 前 払 金        | 79,902      | 157,133     | △ 77,230    |
| 短 期 貸 付 金    | 3,116       | 4,158       | △ 1,041     |
| 資 産 の 部 合 計  | 136,519,686 | 135,173,712 | 1,345,974   |

減価償却資産については、減価償却累計額控除後の価額。  
有形固定資産で減となる要因は、減価償却、除却等による。

種類  
 ・学術奨励基金引当資産  
 ・相馬学術奨励基金引当資産  
 ・校友会研究奨励基金引当資産  
 ・神山奨学基金引当資産  
 ・川島記念学生表彰基金引当資産  
 ・キャンパス等緑化基金引当資産  
 ・今村学術奨励基金引当資産  
 ・下田奨学基金引当資産  
 ・稲村奨学基金引当資産

| 負 債 の 部               |              |              |             |
|-----------------------|--------------|--------------|-------------|
| 科 目                   | 本 年 度 末      | 前 年 度 末      | 増 減         |
| 固 定 負 債               | 14,183,114   | 13,883,457   | 299,657     |
| 長 期 借 入 金             | 4,732,110    | 4,038,870    | 693,240     |
| 長 期 未 払 金             | 225,658      | 542,998      | △ 317,340   |
| 退職給与引当金               | 9,225,346    | 9,301,589    | △ 76,242    |
| 流 動 負 債               | 7,382,561    | 6,816,189    | 566,371     |
| 短 期 借 入 金             | 206,760      | 61,130       | 145,630     |
| 短 期 未 払 金             | 1,727,860    | 1,197,404    | 530,456     |
| 前 受 金                 | 4,234,822    | 4,418,979    | △ 184,157   |
| 預 り 金                 | 1,213,119    | 1,138,676    | 74,442      |
| 負 債 の 部 合 計           | 21,565,676   | 20,699,647   | 866,028     |
| 純 資 産 の 部             |              |              |             |
| 科 目                   | 本 年 度 末      | 前 年 度 末      | 増 減         |
| 基 本 金                 | 149,659,462  | 148,016,628  | 1,642,834   |
| 第 1 号 基 本 金           | 144,696,230  | 143,263,413  | 1,432,817   |
| 第 2 号 基 本 金           | 400,000      | 200,000      | 200,000     |
| 第 3 号 基 本 金           | 2,734,231    | 2,724,214    | 10,016      |
| 第 4 号 基 本 金           | 1,829,000    | 1,829,000    | 0           |
| 繰 越 収 支 差 額           | △ 34,705,452 | △ 33,542,563 | △ 1,162,888 |
| 翌 年 度 繰 越 収 支 差 額     | △ 34,705,452 | △ 33,542,563 | △ 1,162,888 |
| 純 資 産 の 部 合 計         | 114,954,010  | 114,474,064  | 479,945     |
| 負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計 | 136,519,686  | 135,173,712  | 1,345,974   |

日本私立学校振興・共済事業団、銀行からの借入金

借入金の平成29年度返済予定額

※千円単位で表記するにあたり、千円未満を切り捨てているため、合計等において差異が生じる場合がある。

### (1) 資産の部

資産の部では、固定資産が、前年度末より 10 億 5,436 万円増の 1,286 億 1,320 万円。このうち、有形固定資産が、建物、構築物、図書、車両の増により、前年度末より 5 億 9,668 万円増の 963 億 3,356 万円。特定資産は、第 2 号基本金引当特定資産等の増により、前年度末より 4 億 6,001 万円増の 315 億 3,423 万円。その他の固定資産は、教職員貸付金等の減により、前年度末より 234 万円減の 7 億 4,541 万円。

流動資産は、現金預金、未収入金等の増で、前年度末より 2 億 9,161 万円増の 79 億 647 万円。

資産の部合計は、前年度末より 13 億 4,597 万円増の 1,365 億 1,968 万円となっている。

### (2) 負債の部

負債の部では、固定負債が長期借入金の増で前年度末より 2 億 9,965 万円増の 141 億 8,311 万円。

流動負債は、短期未払金等の増で前年度末より 5 億 6,637 万円増の 73 億 8,256 万円。負債の部合計は、前年度末より 8 億 6,602 万円増の 215 億 6,567 万円となっている。

### (3) 純資産の部

純資産の部では、基本金が前年度末より 16 億 4,283 万円増の 1,496 億 5,946 万円。このうち第 1 号基本金が前年度末より 14 億 3,281 万円増の 1,446 億 9,623 万円。第 2 号基本金は、前年度末より 2 億円の増。第 3 号基本金が前年度末より 1,001 万円増の 27 億 3,423 万円。第 4 号基本金は、増減がなく、前年度末と同額の 18 億 2,900 万円。

繰越収支差額は、翌年度繰越収支差額が事業活動収支計算書の同科目と同一の 347 億 545 万円の支出超過。

純資産の部合計は、前年度末より 4 億 7,994 万円増の 1,149 億 5,401 万円となっている。



## 5 学校法人会計について

### 【学校法人会計の概要】

国または、地方公共団体から経常費補助金の交付を受ける学校法人は、私立学校振興助成法の定めにより「学校法人会計基準」(文部科学省令)に従い、会計処理を行い、計算書類を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて所轄庁に届け出ることが義務付けられている(私立学校振興助成法第14条)。

大学等の学校を設置している学校法人は、そのほとんどが国あるいは地方公共団体から経常費補助金を受けていることから、学校法人会計基準にしたがって会計処理を行っている。

「学校法人会計基準」に定められている計算書類は、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表である。また、学校法人は、私立学校法の定めにより、これらの他に財産目録、事業報告書を作成することとなっている。

### 【企業会計との違い】

営利の追求を事業目的としている企業会計の考え方は、損益が重視され、収益と費用を正しく捉え、営業年度の正しい損益を計算し、また負債及び資本の状態を知ることによって、より収益性を高め財政的安全性を図ることを目的としている。

他方、教育研究活動を事業目的とする学校法人の会計では、損益という概念はなく、学校法人の永続的な発展と教育研究活動の円滑な遂行のために、収支の均衡の状況と財政の状態を正しく捉えることを目指している。

学校法人は極めて公共性が高い公益法人であり、その安定性、継続性が強く求められていることから、学校法人会計基準も長期にわたる収支の均衡を求める内容となっている。

### 【計算書類の種類】

国または地方公共団体から補助金の交付を受ける学校法人は、「学校法人会計基準」に則って、会計処理を行い、計算書類を作成しなければならない。

#### ①資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度に行った教育研究等の諸活動に対応して生ずるすべての資金の収入と支出の内容を明らかにすることを目的としている(学校法人会計基準第6条)。

また、そのような当該会計年度に行った諸活動との対応関係にかかわらず、当該会計年度中(4月1日～3月31日)において現実に収納し、または支払った資金の収入および支出について、その顛末を明らかにすることも、もう一つの目的となる。

#### ②活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書の決算額を三つの活動区分ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにする計算書となる。

#### ③事業活動収支計算書

当該年度の活動に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容および基本金組入れ後の均衡の状況を明らかにし、経営状態を表す。従前の消費収支計算書と違い、収支状況について経常的および臨時的収支に区分して表示し、それらのバランスを把握できる。企業会計の損益計算書の目的に類似した計算書となっている。

#### ④貸借対照表

貸借対照表は、当該会計年度末時点における財政状態を表すもので、企業も学校法人も構造的に同様と考えることができる。ただし、企業会計では、資産および負債の項目の配列は、原則として流動性配列法により、学校法人会計では、固定性配列法としている。

### 【基本金】

学校法人会計基準第29条では、「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その帰属収入のうちから組み入れた金額を基本金とする」と規定している。

基本金に組み入れるべき金額は、学校法人会計基準の第30条第1項において、第1号から第4号までの4つに分類され定められている。

第1号基本金 校地、校舎、機器備品、図書などの固定資産の取得価額

第2号基本金 固定資産を取得するために留保した預金等の資産の額

第3号基本金 奨学基金、研究基金等、基金として継続的に保持し、運用する資産の額

第4号基本金 学校法人の円滑な運営に必要な運転資金の額

### ◆参考◆

日本私立大学連盟ホームページ「加盟大学財務状況の推移(平成8年度～平成27年度)」(平成29年5月8日発表) ([http://www.shidaiaren.or.jp/blog/info\\_c/investigation\\_c/2017/05/08/20880](http://www.shidaiaren.or.jp/blog/info_c/investigation_c/2017/05/08/20880))

新学校法人会計基準の財務比率に関するガイドライン(日本私立大学連盟 平成26年11月)



# V その他の資料

## 1 平成28年度卒業・修了者数

### (1) 専修大学

| (学部) |            |              |       |       |
|------|------------|--------------|-------|-------|
| 区分   | 学部         | 学科〔専攻〕       | 卒業生   |       |
| 一部   | 経済学部       | 経済学科         | 501   |       |
|      |            | 国際経済学科       | 220   |       |
|      | 法学部        | 法律学科         | 586   |       |
|      |            | 政治学科         | 134   |       |
|      | 経営学部       | 経営学科         | 590   |       |
|      | 商学部        | マーケティング学科    | 490   |       |
|      |            | 会計学科         | 234   |       |
|      | 文学部        | 日本語日本文学科     |       |       |
|      |            | 日本語学専攻       |       | —     |
|      |            | 日本文学文化専攻     |       | 1     |
|      |            | 日本語学科        |       | 78    |
|      |            | 日本文学文化学科     |       | 120   |
|      |            | 英語英米文学科      |       | 163   |
|      |            | 人文学科         |       |       |
|      |            | 哲学人間学専攻      |       | 0     |
|      |            | 歴史学専攻        |       | 0     |
|      |            | 環境地理学専攻      |       | —     |
|      |            | 社会学専攻        |       | 1     |
|      |            | 哲学科          |       | 70    |
|      |            | 歴史学科         |       | 154   |
|      |            | 環境地理学科       |       | 50    |
|      |            | 人文・ジャーナリズム学科 |       | 98    |
|      | 心理学科       |              | —     |       |
|      | ネットワーク情報学部 | ネットワーク情報学科   |       | 218   |
|      | 人間科学部      | 心理学科         |       | 87    |
|      |            | 社会学科         |       | 141   |
|      | 一部計        |              |       | 3,936 |
| 二部   | 経済学部       | 経済学科         | 68    |       |
|      | 法学部        | 法律学科         | 105   |       |
|      | 商学部        | マーケティング学科    | 90    |       |
| 二部計  |            |              | 263   |       |
| 学部合計 |            |              | 4,199 |       |

※平成27年度卒業延期許可者と  
平成28年度学期末卒業者を含む。

#### (専門職大学院)

| 課程    | 研究科 | 専攻 | 修了者 |
|-------|-----|----|-----|
| 専門職学位 | 法務  | 法務 | 12  |

### (2) 石巻専修大学

| (学部) |         |      |
|------|---------|------|
| 学部   | 学科      | 卒業生  |
| 理工学部 | 基礎理学科   | 2    |
|      | 機械工学科   | 16   |
|      | 情報電子工学科 | 19   |
|      | 生物生産工学科 | 4    |
|      | 食環境学科   | 22   |
|      | 生物生産工学科 | 51   |
|      | 経営学部    | 経営学科 |
| 人間学部 | 人間文化学科  | 5    |
|      | 人間教育学科  | 20   |
| 学部合計 |         | 231  |

| (大学院)   |       |         |     |    |
|---------|-------|---------|-----|----|
| 課程      | 研究科   | 専攻      | 修了者 |    |
| 修士      | 経済学   | 経済学     | 9   |    |
|         | 法学    | 法学      | 4   |    |
|         | 文学    | 日本語日本文学 |     | 11 |
|         |       | 英語英米文学  |     | 2  |
|         |       | 哲学      |     | 1  |
|         |       | 歴史学     |     | 7  |
|         |       | 地理学     |     | 0  |
|         |       | 社会学     |     | 2  |
|         | 心理学   |         | 8   |    |
|         | 経営学   | 経営学     |     | 4  |
|         | 商学    | 商学      |     | 2  |
|         |       | 会計学     |     | 13 |
|         | 修士課程計 |         |     | 63 |
| 博士後期    | 経済学   | 経済学     | 1   |    |
|         | 法学    | 民事法学    |     | 0  |
|         |       | 公法学     |     | 0  |
|         | 文学    | 日本語日本文学 |     | 0  |
|         |       | 英語英米文学  |     | 0  |
|         |       | 哲学      |     | 0  |
|         |       | 歴史学     |     | 0  |
|         |       | 地理学     |     | 0  |
|         | 社会学   |         | 1   |    |
|         | 心理学   |         | 0   |    |
|         | 経営学   | 経営学     |     | 0  |
| 商学      | 商学    |         | 1   |    |
|         | 会計学   |         | 2   |    |
| 博士後期課程計 |       |         | 5   |    |
| 大学院合計   |       |         | 68  |    |

※特例措置修了者を含む。

※上記修了者の他に、専修大学学位規程第14条第1項の  
ただし書きによる学位取得者が1人いる。

| (大学院)   |       |          |     |
|---------|-------|----------|-----|
| 課程      | 研究科   | 専攻       | 修了者 |
| 修士      | 理工学   | 物質工学     | 0   |
|         |       | 機械システム工学 | 2   |
|         |       | 生命科学     | 3   |
|         | 経営学   | 経営学      | 0   |
|         | 修士課程計 |          |     |
| 博士後期    | 理工学   | 物質機能工学   | 0   |
|         |       | 生命環境科学   | 0   |
|         | 経営学   | 経営学      | 0   |
| 博士後期課程計 |       |          | 0   |
| 大学院合計   |       |          | 5   |

## 2 卒業後の進路(学部・学科)

### (1) 専修大学 (二部を除く)

#### 卒業後の進路状況

|                  |                  | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|------------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 就職               | 就職者              | 2,661  | 2,754  | 2,879  | 3,314  | 3,339  |
|                  | 就職率※             | 88.8%  | 90.6%  | 94.5%  | 95.3%  | 95.8%  |
| 進学               | 大学院進学者           | 94     | 102    | 82     | 85     | 74     |
|                  | 留学・学士入学・専門学校等進学者 | 93     | 69     | 72     | 70     | 65     |
| 受験準備(公務員・資格・進学等) |                  | 203    | 179    | 144    | 120    | 107    |

※就職率は希望者に対する比率である。

#### 平成28年度卒業者の主な就職先

国際石油開発帝石(株)、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、積水化学工業(株)、住友林業(株)、NECネットエスアイ(株)、(株)関電工、三機工業(株)、東亜道路工業(株)、富士古河E&C(株)、(株)ミライト、鹿島道路(株)、新日鐵住金(株)、日本電気(株)、富士通(株)、三菱重工業(株)、スズキ(株)、京セラ(株)、中外製薬(株)、日野自動車(株)、アイシン精機(株)、東芝テック(株)、アルプス電気(株)、タカラスタンダード(株)、東海カーボン(株)、クラリオン(株)、日立化成(株)、理想科学工業(株)、クリナップ(株)、山崎製パン(株)、市光工業(株)、HOYA(株)、(株)コーセー、共同印刷(株)、シグマ光機(株)、(株)イムラ封筒、大塚製薬(株)、アサヒビール(株)、(株)ワコール、(株)総合車両製作所、(株)東ハト、(株)鷺宮製作所、三和シャッター工業(株)、(株)シャノン化粧品、アイリスオーヤマ(株)、(株)アマタケ、キヤノンマーケティングジャパン(株)、岩谷産業(株)、菱洋エレクトロ(株)、因幡電機産業(株)、三菱食品(株)、(株)大塚商会、加藤産業(株)、(株)極洋、(株)トーメンエレクトロニクス、トラスコ中山(株)、(株)ドウシシャ、(株)UKCホールディングス、(株)ハピネット、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)、シチズン電子(株)、(株)トーハン、日本酒類販売(株)、国分グループ本社(株)、(株)日本アクセス、(株)山星屋、花王カスタマーマーケティング(株)、東海澱粉(株)、貝印(株)、(株)友和、富士ゼロックス東京(株)、資生堂ジャパン(株)オリンパスメディカルサイエンス販売(株)、(株)吉田、青山商事(株)、(株)ローソン、(株)三越伊勢丹ホールディングス、(株)マルエツ、(株)丸井グループ、(株)AOKIホールディングス、(株)ビックカメラ、(株)しまむら、(株)島忠、(株)アルペン、(株)松屋、(株)ノジマ、(株)ユナイテッドアローズ、イオンリテール(株)、(株)イトーヨーカ堂、(株)セブンイレブン・ジャパン、(株)そごう・西武、(株)カインズ、リコージャパン(株)、(株)京王百貨店、(株)東急ストア、(株)ビッグモーター、(株)東急百貨店、(株)アニメイト、(株)ヨドバシカメラ、(株)みずほフィナンシャルグループ、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)三井住友銀行、(株)りそなホールディングス、(株)SMBC信託銀行、(株)ゆうちょ銀行、中央労働金庫、(株)横浜銀行、(株)静岡中央銀行、住友生命保険(相)、日本生命保険(相)、明治安田生命保険(相)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、第一生命ホールディングス(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)、SMBC日興証券(株)、三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)、野村證券(株)、みずほ証券(株)、水戸証券(株)、大和証券(株)、(株)オリエントコーポレーション、イオンフィナンシャルサービス(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京急行電鉄(株)、東海旅客鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、日本通運(株)、小田急電鉄(株)、イオンモール(株)、福山通運(株)、西日本鉄道(株)、(株)エイチ・アイ・エス、丸全昭和運輸(株)、住友不動産販売(株)、東京地下鉄(株)、全日本空輸(株)、西武鉄道(株)、北海道旅客鉄道(株)、(株)日本旅行、(株)AIRDO、野村不動産アーバンネット(株)、(株)JTBCコーポレートセールス、(株)阪急交通社、近畿日本ツーリスト(株)、クラブツーリズム(株)、ANAエアポートサービス(株)、北総鉄道(株)、羽田空港サービス(株)、KDDI(株)、富士ソフト(株)、伊藤忠テクノソリューションズ(株)、(株)オービックビジネスコンサルタント、都築電気(株)、(株)ゼンリン、(株)DTS、三井情報(株)、三菱総研DCS(株)、(株)ワークスアプリケーションズ、(株)マイナビ、ヤマトシステム開発(株)、(株)リクルートキャリア、日本ビジネスシステムズ(株)、(株)日立公共システム、日立物流ソフトウェア(株)、日本情報産業(株)、エヌ・ティ・ティ・データ先端技術(株)、公立学校教員(中学校・高等学校)、国家公務員総合職(法務省)、国家公務員一般職(財務省、法務省、農林水産省、経済産業省、厚生労働省、会計検査院)、裁判所職員一般職、国税専門官、法務教官、刑務官、航空自衛隊一般幹部候補生、海上保安官(海上保安庁・海上保安学校)

### (2) 石巻専修大学

#### 卒業後の進路状況

|                  |                  | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|------------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 就職               | 就職者              | 253    | 283    | 217    | 168    | 185    |
|                  | 就職率※             | 93.0%  | 93.1%  | 93.5%  | 93.9%  | 95.9%  |
| 進学               | 大学院進学者           | 6      | 5      | 5      | 2      | 7      |
|                  | 留学・学士入学・専門学校等進学者 | 14     | 5      | 2      | 3      | 4      |
| 受験準備(公務員・資格・進学等) |                  | 17     | 7      | 4      | 13     | 11     |

※就職率は希望者に対する比率である。

#### 平成28年度卒業者の主な就職先

##### 【理工学部】

日本電設工業(株)、パンチ工業(株)、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、日本連続端子(株)、サイバーコム(株)、(一社)宮城県自動車整備振興会、みやぎ登米農業協同組合、いわて生活協同組合、田村森林組合、遠野地方森林組合、南三陸森林組合、石巻地方広域水道企業団

##### 【経営学部】

(株)日本ハウスホールディングス、イオンリテール(株)、兼松コミュニケーションズ(株)、(株)葉王堂、日本通運(株)、(株)クエスト、仙南信用金庫、石巻商工信用組合、みやぎ生活協同組合、石巻商工会議所、(学)明德義塾、宮城県警察本部、横浜市役所

##### 【人間学部】

日本住宅(株)、兼松コミュニケーションズ(株)、東北電子工業(株)、(株)NOMCO&CO.、(株)トランスコスモス・テクノロジーズ、石巻信用金庫、石巻商工信用組合、コスモスケア(株)、(社福)槃特会、(社福)成光苑、(社福)健全会、(学)願成寺学園、宮城県教育委員会(小学校教諭)、石巻市役所(保育士)

### 3 公開講座等の開講状況

専修大学神田キャンパスで実施したもの

| 講座名・テーマ  | 実施期間    |
|--|---------|
| 「TOEIC®講座 前期コース」   | 5月～7月   |
| 専修大学創立140周年記念事業 『『反骨』の弁護士 今村力三郎 生誕150年記念展』                             | 6月      |
| 専修大学法社会学ゼミナール 第7回「裁判員ラウンジ」   | 6月      |
| 専修大学創立140周年記念講演会 『『反骨』の弁護士・今村力三郎生誕150年記念講演会』                           | 6月      |
| 専修大学社会知性開発研究センター／古代東ユーラシア研究センターシンポジウム 「古代東ユーラシアにおける『人流』と地域社会」          | 7月      |
| イラク戦争検証報告書情報公開訴訟シンポジウム 「日本とイギリスのイラク戦争検証ーイラク戦争とは何だったのか」                 | 7月      |
| 専修大学社会知性開発研究センター／アジア産業研究センター国際シンポジウム 「周辺国から見た東南アジア経済発展の実態と課題」          | 7月      |
| 専修大学文学部50周年記念企画 「メディアの本分、ジャーナリズムの力」                                    | 7月      |
| 日本海岸林学会・専修大学商学研究所共催 ミニシンポジウム 「海岸林管理と地域・企業のかかわりの現状」                     | 7月      |
| 専修大学大学院商学研究所 東京信用保証協会 共同公開講座 『『TPPが中小企業経営に与える影響』～FTA・EPAからの示唆～』        | 7月      |
| 「TOEIC®講座 夏期集中コース(中級)」   | 8月      |
| 専修大学法社会学ゼミナール 第8回「裁判員ラウンジ」   | 9月      |
| 専修大学人文科学研究センター公開講演会 「シリアの現状と将来」  | 9月      |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「高齢者の加害行為と監督者責任ー認知症患者の事例を中心にー」                    | 9月      |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「三くだり半の世界ーもの見方・考え方」                               | 9月      |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「なぜイギリス法曹は今でも風変わりな法服とかつらを着用しているのかーその歴史と現在ー」       | 10月     |
| 法学部からの知の発信 公開模擬裁判 「あなたも裁判官になってみよう」                                     | 10月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「EUにおける国家財政危機とEU法」                                | 10月     |
| 「TOEIC®講座 後期コース」   | 10月～12月 |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「法治主義について」  | 10月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「共謀共同正犯と幫助犯との区別について」                              | 10月     |
| 大学院公開講座 PART 1 「新しい海外移民と海外日本人社会ーハワイ、ニューヨーク、バリ島ー」                       | 10月～11月 |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「法や裁判に見る前近代中国の家族関係の諸相ー清代を中心に」                     | 10月     |
| 専修大学法学研究所 学生と市民のための公開講演会 「現場からの法学・政治学Ⅰ」                                | 10月～12月 |
| 専修大学緑風学会 「ミシェル＝ベルンシュタイン文庫史料の学際的研究」                                     | 10月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「方法の錯誤(打撃の錯誤)の沿革的考察」                              | 10月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「現代社会と過失犯」  | 10月     |
| 専修大学大学院経済学研究所 政策科学シンポジウム 「社会のハブになる人材を育てるには～社会的起業教育のあり方～」               | 10月     |
| 公開模擬裁判   | 11月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「会社法とコンプライアンス」                                    | 11月     |
| 大学院公開講座 PART 2 「正念場の日本経済ー日本に残された時間と選択肢ー」                               | 11月～12月 |
| 専修大学法学部 国際シンポジウム 「東アジアにおける新しい規範的秩序の動向」                                 | 11月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「資源リサイクルへの挑戦(究極のレアメタル回収技術の開発)～専修大学との出会い・村民法ゼミナール」 | 11月     |
| 専修大学法学部 シンポジウム 「犠牲者家族の思いと法のあり方」  | 11月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「コーポレート・ガバナンスと民主主義ー判例にあらわれる意思決定システムの調整ー」          | 11月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「監督義務者責任の意義と機能ー最近の最高裁判決を素材としてー」                   | 11月     |
| 専修大学社会知性開発研究センター／古代東ユーラシア研究センターシンポジウム 「東ユーラシアにおける移動と定着」                | 11月     |
| 今村法律研究所公開講座 「ハンセン病隔離、特別法廷、冤罪藤本事件」                                      | 11月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「環境問題と差止訴訟ー民法から原発訴訟・諫早湾干拓関係訴訟を考える」                | 11月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「繰り返される官製談合」                                      | 11月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「政治家の肖像～サクラウ・ディズレーリとバイブル・グラッドストーン～」               | 12月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「男女雇用機会均等法施行30年 課題と展望」                            | 12月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「作ることは考えることであるー職人(クラフツマン)的知性について」                 | 12月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「トップスポーツにおける競い合いの現状～拡大する社会への影響～」                  | 12月     |
| 法学部からの知の発信 140回連続講演会 「私見『社会知性の開発』ー本学21世紀ビジョンの意義を考えるー」                  | 12月     |
| 専修大学商学研究所公開シンポジウム 「メコン地域におけるビジネス教育の実態」                                 | 12月     |
| 専修大学法社会学ゼミナール 第9回「裁判員ラウンジ」   | 12月     |
| 専修大学法学研究所公開シンポジウム 「韓国の法と社会ー歴史～われわれは、なぜ韓国法に学ぶのか～」                       | 2月      |
| 「TOEIC®講座 春期集中コース(初級)」   | 2月      |
| 専修大学法社会学ゼミナール 第10回「裁判員ラウンジ」  | 3月      |

専修大学生田キャンパスで実施したもの

| 講座名・テーマ   | 実施期間   |
|---|--------|
| 専修大学スポーツ研究所スポーツ講座 「子どもにおける“からだ”と“うごき”と“こころ”づくり教室」   | 4月～3月  |
| 専修大学図書館 春の企画展 「春にやってきた江戸の妖怪大集合ー向井信夫文庫を中心にー」   | 4月     |
| 国際交流特別講演会 「やさしい英語による経済学講座」  | 4月～5月  |
| 専修大学スポーツ実践公開講座 「中高年の健康を考える」   | 5月～11月 |
| 「秘書検定講座」  | 5月～6月  |
| 経済学部経済学科公開講座 統一テーマ 「4年目を迎えたアベノミクスと日本経済」   | 5月～6月  |
| 「TOEIC®講座 月曜日定期コース」   | 5月～7月  |
| 「TOEIC®講座 水曜日定期コース」   | 5月～7月  |
| 国際交流特別講演会 「やさしい英語による宇宙科学講座」   | 6月～7月  |
| 専修大学文学部50周年記念企画 「ゴシック・ファンタジーHarry Potterの正しい読み解き方教えます」  | 6月     |
| 専修大学会計学研究所 公開講演会 「企業活動の国際化と租税回避」  | 6月     |
| 専修大学社会知性開発研究センター／心理科学研究センター研究会 「Asymmetries in emotional expression: Some posing research 感情の表現と広報」 | 7月     |
| 地域住民のための図書館講習会 「ー大学図書館を使ってみませんかー」   | 7月     |
| 専修大学文学部英語英米文学科公開セミナー 「高校生のための英語学習法」   | 7月     |
| 「高校教員対象 研修プログラム」  | 7月     |
| 専修大学文学部50周年記念企画 「伊能忠敬の原寸大復元図フロア展示」  | 8月     |
| 高校生のための経営学実践講座 「高校生が行きたくなるファストフード店をプロデュースしよう! はじめての経営!!」  | 8月     |
| 専修大学文学部50周年記念企画 「翻訳がひらく未来」  | 10月    |

=次ページへ=

=前ページより=

|   |         |
|---|---------|
| 「TOEIC®講座 木曜日定期コース」   | 10月～12月 |
| 専修大学エクステンションセンター公開講座 歴史を紐とく 統一テーマ「古代の祭祀と儀礼の諸相ー古代への接近ー」  | 10月     |
| 専修大学文学部50周年記念企画「柴田義之一人芝居『こい』『榎物語』」  | 10月     |
| 専修大学会計学研究所 公開講演会「公会計の現状と課題」   | 10月     |
| 専修大学図書館 特別展「フランス革命を知ろう！ 2016 ー地方の革命、社会権の生成、国民経済の確立、憲法とナポレオンに注目してー」  | 10月～11月 |
| 専修大学文学部50周年記念企画「戦争の歴史とわたしたちー戦争を体験する、伝える、記憶するー」  | 10月     |
| 専修大学スポーツ研究所 公開シンポジウム「オリンピック・パラリンピックのレガシーーリオ2016から東京2020へー」  | 10月     |
| 専修大学情報科学研究所公開講座「IT×ものづくり入門 ～コンピュータを使って工作を体験してみよう！」  | 11月     |
| 専修大学文学部50周年記念企画「津田大介と語るメディアの力」  | 11月     |
| 専修大学日本語日本文学文化学会講演会「シルクロードの旅」  | 11月     |
| 専修大学創立140周年記念事業「『反骨』の弁護士 今村力三郎 生誕150年記念展」   | 11月～12月 |
| 専修大学自然科学研究所 公開講演会「炭素 ～ありふれた、かけがえのない元素～」   | 11月     |
| 国際交流特別講演会「やさしい英語による経済学講座」   | 11月～12月 |
| 専修大学社会科学研究所公開シンポジウム「格差の諸相ー“分断社会”を越えてー」  | 11月     |
| 専修大学人文科学研究所公開講演会「Body Talk: Changing Body Image, Perception and Aesthetics in the Contemporary Culture (21世紀の身体-現代文化における身体イメージ・認識・美学の変化)」 | 12月     |

専修大学サテライトキャンパスで実施したもの

| 講座名・テーマ   | 実施期間    |
|---|---------|
| 専修大学文学部50周年記念企画「こころとの付き合い方:地域に根ざす相談室として」  | 5月      |
| 「イタリア語講座(前期)」   | 5月～7月   |
| 専修大学スポーツ研究所公開研究会「ニュージーランドにおける地域のスポーツ環境とその役割」<br>／「大学体育の成績評価を考える/専修大学における大学体育の成績評価に関する現状と課題」   | 6月      |
| 専修大学社会知性開発研究センター/ソーシャル・ウェルビーイング研究センターシンポジウム<br>“Social Well-being in Asia: Empirical Evidences and Theoretical Perspectives” 「アジアにおけるソーシャル・ウェルビーイングアンケート調査を踏まえてー」 | 6月      |
| 専修大学スポーツ研究所公開研究会「箱根駅伝を語る ～野呂進×満園文博～」  | 7月      |
| KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミー 公開講座「『健康な未来をつくる。』～ 創意革新と挑戦による、超高齢社会における課題解決～」   | 7月      |
| 専修大学文学部50周年記念企画「大学生が歩いた被災地『東日本』と『阪神』の記憶」  | 8月      |
| KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミー 公開講座「本業×家族×社会活動で地域を元気に」   | 8月      |
| 「TOEIC®講座 夏期集中コース(初級)」  | 9月      |
| 「イタリア語講座(後期)」   | 10月～12月 |
| 専修大学スポーツ研究所公開研究会「剣道の障害を減らすためにー左下腿部障害の発生要因とその改善策ー」<br>／『体育』演習から『スポーツ』教育へと転換した本学教養体育の授業効果ー平成27年度全国大学体育連合助成研究報告ー／「スポーツ選手の体格・運動能力測定報告」                                | 11月     |
| 専修大学 書道研究会(展示)「鳳選抜展(書道展)」   | 11月～12月 |
| 専修大学人間科学部社会学科 大矢根 淳ゼミナール(展示)「東日本大震災や阪神・淡路大震災、各種災害、生活環境の変動に対峙したゼミの展示～被災踏査と論考の軌跡」   | 1月      |
| 専修大学社会知性開発研究センター/心理科学研究センター研究会「ベイジアン・モデリングの実践問題とその超克」   | 2月      |

石巻専修大学キャンパスで実施したもの

| 講座名・テーマ   | 実施期間  |
|---|-------|
| 石巻専修大学開放講座 統一テーマ「あなたの大切なものは何ですか？」                             | 6月～7月 |
| 「教員の資質向上のための公開講座」   | 6月～7月 |
| 「日本とドイツ・絆コンサート 2016」  | 7月    |
| 共創研究センター研究成果報告会「平成27年度共創研究センタープロジェクト事業(研究プロジェクト)」             | 7月    |
| IK発表会「地域間連携による製品開発事業に関する実証的研究」／「学習の主體的な学びを促す先進的な取り組みの調査研究」    | 7月    |
| 「平成28年度教員免許状更新講習」   | 8月    |
| 「ひらめき☆ときめきサイエンス『花のかたちはどう決まる？遺伝子から迫る花のでき方』」                    | 8月    |
| 「ひらいてみよう！知の玉手箱」   | 10月   |
| 「平成27年度IS奨学研究員の発表会」   | 10月   |
| 共創研究センタープロジェクト講演会「JR東日本の観光商品の動向と石巻地域における着地型観光のあり方について」        | 10月   |
| 「雪に閉ざされて一冬の田園詩」   | 12月   |
| 私立大学研究ブランディング事業 研究会「震災復興から地域資源の新結合による産業創出へー草葉起源による内水面養殖業の創出ー」 | 1月    |
| 高大産「石巻地域3者連携ものづくりプロジェクト」最終報告会                                 | 2月    |
| 学長講演「ロケットを安全に飛ばす」   | 2月    |
| 講演会「『石巻地域における震災からの企業再生実態調査』から見てきたもの」                          | 3月    |

学外施設で実施したもの

| 講座名・テーマ・開催場所  | 実施期間   |
|---|--------|
| 「宮城・石巻発シャクだしラーメン」発売記念販売会【イオンモール石巻(宮城県石巻市)】  | 4月     |
| 「宅地建物取引士資格試験講座」【「資格の学校TAC」の首都圏各校舎】  | 5月～10月 |
| 地方自治体との提携講座「観光資源としての世界文化遺産」【あゝぼーと佐渡(新潟県佐渡市)】  | 6月     |
| 国際理解講演会「グローバル化と国際理解」【宮城県石巻西高等学校(宮城県石巻市)】  | 6月     |
| 地方自治体との提携講座「江釣子古墳群の話」【北上市生涯学習センター(岩手県北上市)】  | 6月     |
| 専修大学140周年記念事業「目賀田種太郎と近代日本 ～教育者・法律家・官僚として～」【たばこと塩の博物館(東京都墨田区)】   | 9月～11月 |
| 専修大学図書館コレクション展「～書物に見る日本文化の『雅』と『俗』～」【たばこと塩の博物館(東京都墨田区)】  | 9月～11月 |
| 専修大学140周年記念講演会「目賀田種太郎の洋学と洋楽」【たばこと塩の博物館(東京都墨田区)】   | 9月     |
| 社会知性フォーラム「地域社会で光る社会知性 ～健康な体ときれいな水を守る」／「防災・減災につながるハザードマップの活かし方」<br>／玉名市報告「熊本地震における玉名市の対応について」【玉名市民会館(熊本県玉名市)】  | 10月    |
| 専修大学140周年記念講演会「大蔵省主税局長 目賀田種太郎」【たばこと塩の博物館(東京都墨田区)】   | 10月    |
| 専修大学140周年記念講演会「明治期の専修学校における法学教育のその成果-目賀田種太郎と今村力三郎を中心に-」【たばこと塩の博物館(東京都墨田区)】  | 10月    |
| 専修大学140周年記念シンポジウム「明治期における神田五大大法律学校の意義と役割」【たばこと塩の博物館(東京都墨田区)】  | 10月    |
| 専修大学文学部50周年記念シンポジウム「『地域から出版と読書の未来を考える』in 鳥取県」【今井書店 本の学校(鳥取県米子市)】  | 11月    |
| 専修大学文学部50周年記念シンポジウム「『NIE』in 沖縄」【興南高等学校(沖縄県那覇市)】   | 11月    |
| 「自動車の将来と電気自動車の構造」【石巻市立山下小学校(宮城県石巻市)】  | 11月    |
| 専修大学社会知性開発研究センター/日中企業連携研究センターセミナー<br>「川崎ものづくり系 中小・ベンチャー企業向け中国企業との連携促進セミナー」【川崎市産業振興会館(神奈川県川崎市)】  | 2月     |
| 専修大学社会知性開発研究センター/ソーシャル・ウェルビーイング研究センター国際コンファレンス<br>“Social Well-being and Sustainable Development Goals in Asia” 「ソーシャル・ウェルビーイングとアジアにおける持続可能な開発目標」【チュロロンコン大学(タイ・バンコク)】 | 3月     |
| 石巻専修大学公開講演会in登米「リーダーシップとモチベーション」【登米市中田農村環境改善センター(宮城県登米市)】   | 3月     |

## 4 平成 28 年度学費

### (1) 専修大学

入学金 一部 260,000円 二部 130,000円 大学院・専門職大学院 200,000円

| 学部    |       | (単位:円)            |            |              |              |         |
|-------|-------|-------------------|------------|--------------|--------------|---------|
| 費目    | 学部・学科 | 経済・法<br>経営・商<br>文 | ネット<br>ワーク | 人間学部<br>心理学科 | 人間学部<br>社会学科 | 二部      |
|       | 授業料   | 第1年度              | 732,000    | 852,000      | 765,000      | 735,000 |
| 第2年度  |       | 732,000           | 852,000    | 765,000      | 735,000      | 460,000 |
| 第3年度  |       | 732,000           | 852,000    | 765,000      | 735,000      | 460,000 |
| 第4年度  |       | 732,000           | 852,000    | 765,000      | 735,000      | 460,000 |
| 施設費   | 各年度   | 230,000           | 250,000    | 230,000      | 230,000      | 130,000 |
| 教育充実費 | 各年度   | ※1別表記載            | 70,000     | 90,000       | 40,000       | 20,000  |

※経済：経済学部、法：法学部、経営：経営学部、商：商学部、文：文学部、  
ネットワーク：ネットワーク情報学部、二部：二部経済学部、二部法学部、二部商学部

教育充実費別表(※1) (単位:円)

| 学部・学科                              | 教育充実費  |
|------------------------------------|--------|
| 経済・法・経営・商                          | 20,000 |
| 文学部日本語学科<br>文学部日本文化学科<br>文学部英語英米学科 | 30,000 |
| 文学部哲学科<br>文学部人文・ジャーナリ<br>ズム学科      | 25,000 |
| 文学部歴史学科                            | 40,000 |
| 文学部環境地理学科                          | 55,000 |

修士課程 (単位:円)

| 費目    | 修士2  |         | 修士4     |      |
|-------|------|---------|---------|------|
|       | 第1年度 | 第2年度    | 第1年度    | 第2年度 |
| 授業料   | 第1年度 | 470,000 | 352,000 |      |
|       | 第2年度 | 470,000 | 352,000 |      |
|       | 第3年度 |         | 352,000 |      |
|       | 第4年度 |         | 352,000 |      |
| 施設費   | 第1年度 | 120,000 | 120,000 |      |
| 教育充実費 | 第2年度 | ※2別表記載  | 20,000  |      |

※修士2:標準修業年限が4年の修士課程は除いた研究科

※修士4:標準修業年限が4年の修士課程(経済学研究科修士課程経済学専攻)

教育充実費別表(※2) (単位:円)

| 専攻        | 教育充実費   |
|-----------|---------|
| 経済学専攻     | 20,000  |
| 法学専攻      | 20,000  |
| 日本語日本文学専攻 | 30,000  |
| 英語英米文学専攻  | 20,000  |
| 哲学専攻      | 25,000  |
| 歴史学専攻     | 40,000  |
| 地理学専攻     | 55,000  |
| 社会学専攻     | 40,000  |
| 心理学専攻     | 100,000 |
| 経営学専攻     | 20,000  |
| 商学専攻      | 20,000  |
| 会計学専攻     | 20,000  |

博士後期課程 (単位:円)

| 費目    | 法務研究科 |         |
|-------|-------|---------|
|       | 第1年度  | 第2年度    |
| 授業料   | 第1年度  | 450,000 |
|       | 第2年度  | 450,000 |
|       | 第3年度  | 450,000 |
| 施設費   | 各年度   | 120,000 |
| 教育充実費 | 各年度   | ※3別表記載  |

教育充実費別表(※3) (単位:円)

| 専攻        | 教育充実費  |
|-----------|--------|
| 経済学専攻     | 20,000 |
| 民法法学専攻    | 20,000 |
| 公法学専攻     | 20,000 |
| 日本語日本文学専攻 | 30,000 |
| 英語英米文学専攻  | 20,000 |
| 哲学専攻      | 25,000 |
| 歴史学専攻     | 40,000 |
| 地理学専攻     | 55,000 |
| 社会学専攻     | 30,000 |
| 心理学専攻     | 50,000 |
| 経営学専攻     | 20,000 |
| 商学専攻      | 20,000 |
| 会計学専攻     | 20,000 |

法科大学院 (単位:円)

| 費目    | 法務研究科 |         |
|-------|-------|---------|
|       | 第1年度  | 第2年度    |
| 授業料   | 第1年度  | 950,000 |
|       | 第2年度  | 950,000 |
|       | 第3年度  | 950,000 |
| 施設費   | 各年度   | 260,000 |
| 教育充実費 | 各年度   | 20,000  |

(2) 石巻専修大学

入学金 学部 230,000円 大学院 200,000円

(単位:円)

| 費目    | 学部・学科 | 理工学部    | 経営学部    | 人間学部<br>人間文化学<br>科 | 人間学部<br>人間教育学<br>科 |
|-------|-------|---------|---------|--------------------|--------------------|
|       |       |         |         |                    |                    |
| 授業料   | 第1年度  | 968,000 | 673,000 | 700,000            | 710,000            |
|       | 第2年度  | 968,000 | 673,000 | 700,000            | 710,000            |
|       | 第3年度  | 968,000 | 673,000 | 700,000            | 710,000            |
|       | 第4年度  | 968,000 | 673,000 | 700,000            | 710,000            |
| 施設費   | 各年度   | 260,000 | 210,000 | 260,000            | 260,000            |
| 教育充実費 | 各年度   | 93,000  | 33,000  | 50,000             | 70,000(※)          |
| 学会費   | 各年度   | —       | —       | 3,000              | 3,000              |

※平成25年度入学生は50,000円

修士課程 (単位:円)

| 費目    | 研究科  | 理工学<br>研究科 | 経営学<br>研究科 |
|-------|------|------------|------------|
|       |      |            |            |
| 授業料   | 第1年度 | 953,000    | 658,000    |
|       | 第2年度 | 953,000    | 658,000    |
| 施設費   | 各年度  | 260,000    | 210,000    |
| 教育充実費 | 各年度  | 83,000     | 23,000     |

博士後期課程 (単位:円)

| 費目    | 研究科  | 理工学<br>研究科 | 経営学<br>研究科 |
|-------|------|------------|------------|
|       |      |            |            |
| 授業料   | 第1年度 | 774,000    | 534,000    |
|       | 第2年度 | 774,000    | 534,000    |
|       | 第3年度 | 774,000    | 534,000    |
| 施設費   | 各年度  | 180,000    | 130,000    |
| 教育充実費 | 各年度  | 83,000     | 23,000     |

5 国際交流協定校・国際交流組織間協定校・研修校(平成29年3月31日現在)

| アジア  |  | ヨーロッパ  |  | 北中米                                 |
|--|--|--|--|-------------------------------------|
| <b>中国</b><br>〔専修大学〕<br>上海大学<br>北京大学国際関係学院<br>北京大學人文社会科学部(組織間協定)<br>西北大学<br>南開大学法学院(組織間協定)<br>首都経済貿易大学工商管理學院(組織間協定)<br>〔石巻専修大学〕<br>石油大学<br>温州大学 | <b>韓国</b><br>〔専修大学〕<br>檀国大学<br>湖南大学人文社会科学部(組織間協定)<br>延世大学韓国語学堂(研修校)<br>財団法人東亜細亜文化財研究院(組織間協定)<br>忠北大学人文学部(組織間協定)      | <b>アイルランド</b><br>〔専修大学〕<br>ダブリン大学トリニティカレッジ<br><b>イギリス</b><br>〔専修大学〕<br>ブリストル大学<br>CIEオックスフォード(研修校) | <b>アメリカ</b><br>〔専修大学〕<br>ネブラスカ大学リンカーン校<br>サスケハナ大学<br>オレゴン大学<br>〔石巻専修大学〕<br>ワシントン大学工学部等3学部(学部間協定) |                                     |
| <b>台湾</b><br>〔専修大学〕<br>国立中山大学  | <b>ベトナム</b><br>〔専修大学〕<br>ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学<br>国民経済大学<br>ベトナム社会科学院<br>社会学研究所・東北アジア研究所(組織間協定)<br>ダナン大学ダナン経済大学(組織間協定) | <b>フランス</b><br>〔専修大学〕<br>リヨン政治学院<br>リュミエール・リヨン第2大学CIEF(研修校)<br>トゥーレーヌ語学センター(研修校)                   | <b>メキシコ</b><br>〔専修大学〕<br>イベロアメリカナ大学  |                                     |
| <b>モンゴル</b><br>〔専修大学及び石巻専修大学〕<br>モンゴル国立大学  | <b>ラオス</b><br>〔専修大学〕<br>ラオス国立大学  | <b>ドイツ</b><br>〔専修大学〕<br>マルティン・ルター大学 ハレ・ヴィッテンベルク<br>ゲーテ・インスティトゥート プレーメン校(研修校)                       | <b>カナダ</b><br>〔専修大学〕<br>カルガリー大学  | <b>オセアニア</b>                        |
| <b>タイ</b><br>〔専修大学〕<br>タイ商工会議所大学<br>経済ビジネス予測センター(組織間協定)<br>チュラロンコン大学<br>社会調査研究所(組織間協定)   | <b>カンボジア</b><br>〔専修大学〕<br>王立ブノンペン大学  | <b>スペイン</b><br>〔専修大学〕<br>バルセロナ大学   | <b>オーストラリア</b><br>〔専修大学〕<br>ウーロンゴン大学   | <b>ニュージーランド</b><br>〔専修大学〕<br>ワイカト大学 |

6 付属校

|  |                           |
|--|---------------------------|
| 学校法人専修大学附属高等学校                             | 〒168-0063 東京都杉並区和泉4-4-1   |
| (設置校)専修大学附属高等学校                            |                           |
| 学校法人専修大学松戸高等学校                             | 〒271-8585 千葉県松戸市上本郷2-3621 |
| (設置校)専修大学松戸高等学校, 専修大学松戸中学校, 専修大学松戸幼稚園      |                           |
| 学校法人北上学園                                   | 〒024-8508 岩手県北上市新穀町2-4-64 |
| (設置校)専修大学北上高等学校, 専修大学北上福祉教育専門学校, 専修大学北上幼稚園 |                           |
| 学校法人玉名学園                                   | 〒869-0293 熊本県玉名市岱明町野口1046 |
| (設置校)専修大学玉名高等学校                            |                           |



Devoted to the Development  
of Socio-Intelligence

**SENSHU**  
**UNIVERSITY**